

令和7年4月入学者用

令和7年度学校推薦型選抜 学生募集要項

出願期間 令和6年11月1日（金）～8日（金）【必着】
（インターネット出願システムへの登録は10月25日（金）から可能）

入試実施日 令和6年11月23日（土）
※一部の専攻・コースについては、志願者数により11月24日（日）にも
試験を実施する場合があります。

【重要】

教育協働学科について、令和7年度に専攻・コースの再編を予定しています。
詳細については、右のQRコードにてご確認ください。



また、入学者選抜の方法や日時等を変更する場合は、本学ウェブページでお知らせします。



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

目 次

出願から入学手続までの流れ	1
学校推薦型選抜について	2
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	3
I 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	9
1 募集人員	10
2 出願資格及び要件	10
3 出願期間・出願方法等	15
4 入学者選抜方法等	21
II 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	26
1 募集人員	27
2 出願資格及び要件	27
3 出願期間・出願方法等	33
4 入学者選抜方法等	41
III 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	54
1 募集人員	55
2 出願資格及び要件	55
3 出願期間・出願方法等	56
4 入学者選抜方法等	60
5 入学後の検証等について	61
IV 各推薦共通	62
1 入学試験場	63
2 受験上の注意	63
3 合格者の発表	63
4 入学手続等	63
5 一般選抜との併願について	65
6 個人情報の取扱いについて	65
7 入学検定料等の返還請求について	65
学生生活案内	66
麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》	69
令和7年度大学入学共通テスト受験教科・科目の確認表 （共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠を含む））	70
インターネット出願方法	73

出願から入学手続までの流れ



学校推薦型選抜について

大阪教育大学では、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、次のとおり学校推薦型選抜を実施します。

なお、国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限られていますのでご注意ください。

ただし、学校推薦型選抜に不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学試験を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜については、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願できます。また、前期日程グループ及び後期日程グループに属さない大学・学部への出願については特に制限がありません。

※公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org>) 参照

募集する課程・学科・専攻・コース

◆大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注1)
柏原	学校教育 教員養成課程	教科教育専攻	技術教育コース	4人
			スポーツ健康コース	20人
	教育協働学科	教育コミュニティ支援専攻	芸術表現コース【音楽分野】	10人

◆大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注1)
柏原・ 天王寺		幼小教育専攻(注2)	幼児教育コース	5人
			小学校教育コース	17人
柏原	学校教育 教員養成課程	次世代教育専攻	教育探究コース	10人
			教科教育専攻	国語教育コース
		英語教育コース		8人
		社会科教育コース		14人
		理科教育コース		10人
		家政教育コース		4人
		保健体育コース		5人
		音楽教育コース		6人
		美術・書道教育コース【美術分野】		3人
		特別支援教育専攻	7人	
	教育協働学科	教育イノベーション専攻	環境安全科学コース	10人
グローバル教育専攻		日本語教育コース	5人	
		国際協働英語コース	5人	

◆大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）

キャンパス	課程	専攻	コース	募集人員(注1)
柏原・ 天王寺	学校教育 教員養成課程	幼小教育専攻(注2)	小学校教育コース	5人

(注1) 合格者数（入学手続者数）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注2) 学校教育教員養成課程の幼小教育専攻（幼児教育コース及び小学校教育コース）は、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

「大阪教育大学教育学部アドミッション・ポリシー」

1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・子どもの未来への関心があり、教職への強い意欲と関心、探究心を持つ人
 - ・教職に必要な知識と技能、教科に関わる専門分野への関心がある人
 - ・広く豊かな教養と多様性理解、協調性の修得をめざす人
 - ・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人
- 上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。
- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
 - ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

2. 入学者選抜の基本方針

各課程・学科が求める学生を受け入れるために、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価し、一般選抜（前期日程・後期日程）、学部推薦型選抜、私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・教員の基盤としての広く豊かな教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- ・教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- ・社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- ・子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

2. 入学者選抜の基本方針

教員養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。

- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・十分な技能を有しているかどうかを確かめるために、「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「調査書及び志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力，思考力，発想力，論理的構成力，表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力，思考力，発想力，論理的構成力，表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に修得したうえで、大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに、子どもを教育することの意味を考え、学校教員という職業への自覚を深めてください。また、多様な人々とコミュニケーションを図り、そこから学ぶ態度も身に付けてください。

「養護教諭養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- ・養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- ・人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

2. 入学者選抜の基本方針

養護教諭養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性・表現力・応用能力、健康問題に関する理解をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に、生物及び化学についての力を身に付けてください。学修していることを前提として講義を行います。

「教育協働学科アドミッション・ポリシー」

1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図ることができる人
- ・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- ・確かな学力と旺盛な知的な好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

2. 入学者選抜の基本方針

教育協働学科が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- ・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」では、募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で、実技能力や創作力を評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで、幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け、教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く 強い意欲	
				① 知識・ 技能	② 思考力・ 表現力・ 等 の 能力・ 判断力	③ 主体性 を持って 学ぶ 態度 と 協働		
幼小教育専攻	幼児教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎	○		◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 面接	◎	○		◎	
	小学校教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	◎	◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○		○	
	次世代教育専攻	教育探究コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接 活動報告書	◎	○	◎	◎
			一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文 活動報告書	◎	○	◎	○
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接 活動報告書	◎	○	◎	◎
		ICT教育コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 小論文	◎	◎	○	○
			一般:後期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 面接	◎	◎	○	◎
			学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	◎	◎
学校教育教員養成課程	国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	◎	◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 面接	◎	○			
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎	◎	◎	◎	
	英語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	○	◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査 面接	◎	◎	○	◎	
	社会科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	△	○	◎	◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	◎	△	△	
	数学教育コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎	○			
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎	○			
	理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎	◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査	◎	◎			
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎	◎	
	技術教育コース	学校推薦型	小論文 面接	○	◎	○	◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎	○	○	◎	
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接 調査書及び志望理由書	△	△	○	◎	
	家政教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	○	◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	◎			
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接	△	◎	○	◎	
	保健体育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接 実技検査	◎	○		○	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査 競技成績に関する証明書	◎	○			
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○			
		学校推薦型	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○			
	音楽教育コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○	○		
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○	○		
	美術・書道教育コース	学校推薦型 【美術分野】	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎	◎		◎	
		一般:前期日程	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎	◎	○	◎	
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	◎			
		学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎	◎	
	特別支援教育専攻	一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	◎	○	○	
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 小論文 面接	◎	◎	◎	◎	
		学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎	◎	
	小学校教育(夜間)5年専攻	一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○		○	
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎	◎	
	養護教諭養成課程	一般:前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	◎	△		
		一般:後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎	◎	

※美術・書道教育コースの学校推薦型選抜の募集は美術分野のみ行います。

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素			
				① 知識・技能	② 思考力・表現力・判断能力・	③ 主体性を持って学ぼうとする態度と協働	
教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
			個別学力検査	◎	◎		
		一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	◎	◎			
		環境安全科学コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○	
			面接	○	◎	○	
	一般:前期日程		大学入学共通テスト	◎	○		
	個別学力検査		◎	◎			
	一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	△			
	教育コミュニケーション支援専攻	心理科学コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
			小論文	○	◎	△	
		一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎	△		
		スポーツ健康コース	学校推薦型	小論文	◎	○	○
			実技検査	◎	○	○	
	面接		○	◎	○		
	競技成績に関する証明書		○	○	◎		
	一般:前期日程	大学入学共通テスト	○				
	実技検査	◎	○	○			
	一般:後期日程	大学入学共通テスト	○				
	実技検査	◎	○	○			
	芸術表現コース	学校推薦型【音楽分野】	小論文	○	◎		
		実技検査	◎	◎			
演奏能力・創作力に関する証明書		◎		○			
一般:前期日程		大学入学共通テスト	○				
実技検査		◎	◎				
一般:後期日程		大学入学共通テスト	○				
実技検査	◎	◎					
グローバル教育専攻	日本語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
		面接	○	◎	◎		
	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	○			
国際協働英語コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
	面接	◎	◎	◎			
一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
個別学力検査	◎	◎	○				

※芸術表現コースの学校推薦型選抜の募集は音楽分野のみ行います。

I 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注)
柏原	学校教育 教員養成課程	教科教育専攻	技術教育コース	4人
	教育協働学科	教育コミュニティ支援専攻	スポーツ健康コース	20人
			芸術表現コース【音楽分野】	10人
教育学部合計				34人

(注) 合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

2 出願資格及び要件

課程・専攻・コース	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者</p> <p>① 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者(ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。)</p> <p>② 高等専門学校第3学年を令和7年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) (1)①の者であって、調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者 (1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値(小数点第2位を四捨五入)が2.4以上の者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\} \div (\text{総履修単位数})$ </div> <p>ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>評点</th> <td>100～90点</td> <td>89～80点</td> <td>79～70点</td> <td>69～60点</td> <td>59～0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 将来、小学校教員や中学校・高等学校の技術教育に携わる教員を強く志望する者</p> <p>(4) 技術に関する高い興味と適性を備え、ものづくり教育・技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者</p>	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点								

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻・コース	出願資格及び要件
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は各種目につき1校2名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体又は個人種目において全国ベスト16以上の者（実際にプレーしなかった大会は除く）又は団体種目において全国選抜若しくは全国優秀選手に選ばれた者</p> <p>※出願資格に関わる大会名等については、11～12頁を参照すること。</p> <p style="text-align: center;">陸上競技，バスケットボール，サッカー，バレーボール， 硬式テニス，体操競技，ダンス，柔道，剣道</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、スポーツの指導者を希望する者</p>

出 願 資 格 に 関 わ る 大 会 名 一 覧

種目名	大会名等
陸上競技 <リレー種目は除く>	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ）<リレー種目は除く> ◇国民体育大会<リレー種目は除く> ◇日本陸上競技選手権大会（リレー競技・クロスカントリー競技・混成競技含む） ◇日本グランプリシリーズ指定大会 GP 種目 ◇JOC ジュニアオリンピックカップU20・U18陸上競技選手権大会
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校サッカー選手権大会 ◇高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ ※2 ◇日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会 ◇Jユースリーグ ※2 ◇全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ◇全日本 U-18 女子サッカー選手権大会
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全日本バレーボール高等学校選手権大会

硬式テニス	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇全国選抜高校テニス大会 ◇国民体育大会 ◇全日本ジュニアテニス選手権 ◇全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会（JOC ジュニアオリンピックカップ） ◇ITF ジュニアテニス大会（グレード2以上）
体操競技	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校体操競技選抜大会 ◇全日本ジュニア体操競技選手権大会
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ◇全日本高校・大学ダンスフェスティバル ◇全国レベルの洋舞（バレエ・モダン・コンテンポラリー）コンクール ◇全国レベルのストリートダンス（チアダンスは含まない）コンテストや大会
柔道	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校柔道選手権大会 ◇金鷲旗高校柔道大会 ◇全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
剣道	<ul style="list-style-type: none"> ◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校剣道選抜大会 ◇玉竜旗高校剣道大会 ◇全国都道府県対抗剣道優勝大会 ◇全国都道府県対抗女子剣道優勝大会

※1 上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は出願に先立ち、10月15日（火）までに入試課へ問い合わせてください。

※2 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグに関しては、今年度9節終了時点で東・西各ブロック、8位まで出願可とします。Jユースリーグに関して当該年度に当たっては、出願時各ブロック2位まで出願可とします。

※3 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻・コース	出願資格及び要件
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者</p> <p>A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（作曲・声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。）</p> <p>B 高等学校在籍中に作曲、声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者。又は、それに相当する実技能力を有すると学校長が判断する者。ただし、推薦人数は作曲・声楽・ピアノ・管打楽器の区分ごとに1校2名以内とする。 [出願資格に関わるコンクールについては、14頁を参照すること。]</p> <p>ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。 ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、トランペット、ホルン、トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、打楽器</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 音楽活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、音楽を通して教育協働の分野での活動を希望する者</p> <p>※美術分野については、学校推薦型選抜の募集は行いません。</p>

出願資格に関わるコンクール名一覧

作曲

コンクール	対象
朝日作曲賞（合唱曲作曲部門・吹奏楽曲作曲部門）	入賞及び入選者

声乐

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本合唱コンクール全国大会	出場資格を得た者
NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声乐コンクール	

器楽（ピアノ）

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者

器楽（管打楽器）

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出場資格を得た者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

- ※1 全国レベル又はそれに準ずるコンクールとは、原則として上記のものです。
- ※2 参加コンクールと同一種目（志望する専門）で受験してください。
- ※3 全日本合唱コンクール全国大会、全日本吹奏楽コンクール全国大会、全日本アンサンブルコンテスト全国大会については、在籍する高等学校から出場した場に限りま。
- ※4 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和6年11月1日（金）から令和6年11月8日（金）まで（11月8日必着）

(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和6年10月25日（金）9時～令和6年11月8日（金）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和6年10月25日（金）9時～令和6年11月8日（金）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和6年11月1日（金）～令和6年11月8日（金）必着※

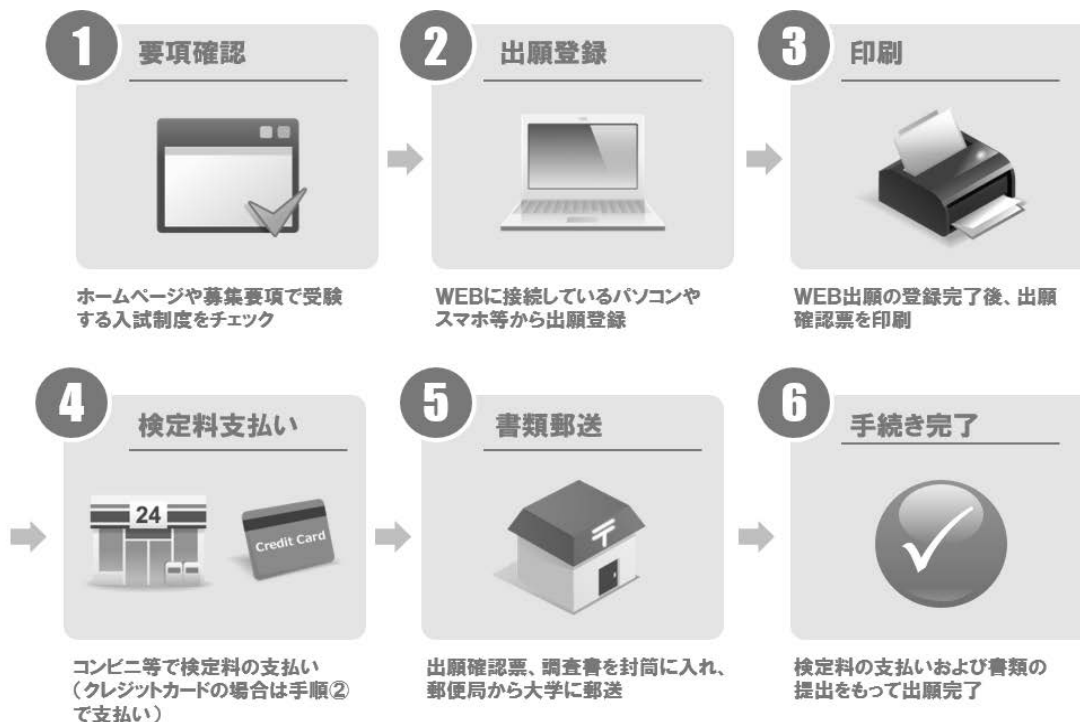
※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月6日（水）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

※不備がある場合等、出願書類の件で連絡する場合があります。出願期間中は必ず連絡をとれるようにしておいてください。（インターネット出願で登録した電話番号又はメールアドレスに連絡します。）

電話の場合は 072-978-XXXX からかかってくる。（最後4桁は変わります。）
メールの場合は nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp から届きます。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、73頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和6年10月25日(金)9時00分～令和6年11月8日(金)12時00分(日本時間)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和6年10月25日(金)9時00分～令和6年11月8日(金)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,410円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代410円)
その他に入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(451円)がかかります。
- 2 支払方法
クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA,MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、 デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は65頁7の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)、熊本地震(平成28年4月14日)及び能登半島地震(令和6年1月1日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoyou_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和6年11月1日(金)～令和6年11月8日(金)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月6日(水)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出 願 確 認 票	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	写真は2枚(同一) が必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、背景無地、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。) ※受験票は、出願受理後、受験番号押印の上、大学から発送しますので、切り離さないでください。(11月15日(金) 発送予定)
	③ 書 類 確 認 票	全 員	必要な書類を確認し、揃っていればチェック欄にレ印を入れ、氏名を記入してください。
	④ 送 付 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑥から⑨は本学ウェブページから所定の様式を印刷してください)	⑤ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、10頁の出願資格(1)の②に該当する場合は、成績証明書も必ず提出してください。
	⑥ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑦ 志 望 理 由 書	全 員	本学所定の様式をA4用紙に片面印刷し、志願者本人が自筆で作成してください。字数について、芸術表現コース【音楽分野】は400字程度、技術教育コース及びスポーツ健康コースは600字程度とします。 なお、教員養成課程用と教育協働学科用の2種類の様式があるため、注意してください。※様式は本学ウェブページに掲載しています。
	⑧ 競 技 成 績 に 関 す る 証 明 書	スポーツ健康コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において所属チームのすべての試合の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑨ 演 奏 能 力 ・ 創 作 力 に 関 す る 証 明 書	芸術表現コース 【音楽分野】 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの 「記載上の注意事項」をよく読み作成してください。 なお、13頁の出願資格(2)Bのうち、 <u>全国レベルに相当する実技能力を有すると学校長が判断する場合は、所見欄に判断した事項をできる限り詳しく記載してください。</u> また、コンクール・演奏会等の実績については、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①コンクール名、年度、団体もしくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②団体においては、出願資格を満たしたコンクールにおいて個人の出場が客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑩ 英 語 能 力 測 定 試 験 に 関 す る 証 明 書	スポーツ健康コース 志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT® などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、19頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、TOEIC® (L&R) のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出 してください。
	⑪ 伴 奏 用 楽 譜	芸術表現コース 【音楽分野】 志望者のみ	声楽に必要な伴奏用楽譜は、B4判とし志願者氏名を明記してください。(1ページの大きさはB5判) 24頁を参照してください。

(参考) 専攻・コース別の必要書類一覧 (課さない推薦)

17頁の出願書類等について、専攻・コース毎に必要な書類が異なります。

下記の一覧表を確認し、出願時に不足等のないようご注意ください。

書類名	技術教育	スポーツ健康	芸術表現 【音楽分野】
出願確認票	○	○	○
受験票・写真票	○	○	○
書類確認票	○	○	○
送付ラベル	○	○	○
調査書	○	○	○
推薦書	○	○	○
志望理由書 (教員養成課程用)	○		
志望理由書 (教育協働学科用)		○	○
競技成績に関する証明書		○	
演奏能力・創作力に関する証明書			○
英語能力測定試験に関する証明書		●※1	
伴奏用楽譜			●※2

○が全員必要な書類、●が該当者のみ必要な書類になります。

※1 スポーツ健康コース志望者で英語能力測定試験の成績利用 (加点) 申請を行う場合

※2 芸術表現コース【音楽分野】を声楽で受験する場合

(4) 英語能力測定試験の成績利用

教育協働学科教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、個別学力検査等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

合計点への 得点加算	実用英語技能 検定 (英検) *	TOEFL iBT®	IELTS **	TOEIC® (L&R)	GTEC CBT タイプ /GTEC 検定版 ***
50 点	準 1 級以上	72 以上	5.5 以上	785 以上	1180 以上
30 点	2 級	60 以上	4.5 以上	550 以上	1000 以上
20 点	準 2 級	55 以上	3.5 以上	400 以上	720 以上
10 点	3 級	40 以上	3.0 以上	365 以上	620 以上

* 英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT, 英検 CBT, 英検 S-Interview を対象とします。

** 「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

*** 「GTEC」CBT タイプ, 「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

英語能力測定試験の提出書類 (教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コース)

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、個別学力検査等の得点の合計点に得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など (コピー可) を 1 通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、TOEIC® (L&R) のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類 (成績証明書など)
実用英語技能検定 (英検)	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form (成績証明書)
TOEIC® (L&R)	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate (公式認定証) 又はデジタル公式認定証 (2023 年度以降受検分)
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

(注 1) 複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

(注 2) 提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

※原本証明について

原本証明とは、原本の写し (コピー) が原本と相違ないことを学校長に証明していただくものです。成績証明書などをコピーで提出する際は、記載例を参考にしてください。

(記載例) 原本の写し (コピー) の余白部分に記載

<p>この写しは原本と相違ないことを証明します。</p> <p style="text-align: center;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: center;">〇〇〇〇学校長 〇〇〇〇</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">公印</div>
--

(5) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和6年10月18日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324 メールアドレス：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 メールアドレス：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(6) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和6年11月23日(土)

ただし、教育協働学科教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コース及び芸術表現コース【音楽分野】は、志願者数によっては11月24日(日)にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検査時間
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	小論文 10:00～11:30 面接 13:00～
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	小論文(11/23) 10:00～11:00 実技・面接(11/23) 11:30～17:00 面接(11/24) 10:00～17:00(*) * 志願者数によっては、実施しない場合があります。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース【音楽分野】	小論文(11/23) 10:00～11:00 実技(11/23) 11:30～ 実技(11/24) 10:00～(*) * 志願者数によっては、実施しない場合があります。

※志願者数によっては、検査科目の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選抜方法
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)、小論文及び面接を総合して行う。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース【音楽分野】	大学入学共通テストを免除し、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び演奏能力・創作力に関する証明書、志望理由書)、小論文及び実技検査を総合して行う。(演奏能力・創作力に関する証明書には、演奏能力・創作力に関する所見又はコンクール等における受賞歴・演奏歴を記載。)

※総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

- (4) 令和7年度大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜の実施科目等について
 共通テストを課さない学校推薦型選抜で、本学が実施する個別学力検査等は次のとおりです。
 なお、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

課程・学科・専攻・コース	検査科目	個別学力検査等の配点等					
		小論文	実技	面接	証明書	合計	加点
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	小論文 面接	250		250		500	
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※1	500	最大 50 ※2
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース【音楽分野】	小論文 実技	150	250		100 ※3	500	

- ※1 は競技成績に関する証明書
 ※2 は英語能力測定試験に関する証明書（最大50点）
 ※3 は演奏能力・創作力に関する証明書

(5) 小論文の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心をみるために、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解（関心を含む）と洞察、論述における論理の構成力や表現力などを総合的に評価する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	スポーツ・健康に関する理解と関心をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に採点・評価する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース【音楽分野】	音楽と社会との関わりについての理解と認識をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された問題への関心度・理解度をみるとともに、論旨の明確さ、文章表現能力等も含め総合的に評価する。

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース

実 施 内 容 及 び 留 意 事 項

下記 1)～9)の競技種目の中から選択した1種目について、運動技能に関する実技検査を行う。
なお、実技検査で使用するウェア、シューズ、防具類等の個人用具は、すべて各自が持参すること。

1) 陸上競技

出願した当該種目について、試合に準じた形式で試技を行う。

2) バスケットボール

1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）
2. 2対1又は3対2
3. 速攻
4. ゲーム

3) サッカー

フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。

<フィールドプレーヤー>

1. ボールコントロール
2. 各種シュート（ドリブルシュート、セントリングシュート）
3. ゲーム

<ゴールキーパー>

1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング、キックの各技能をフィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入っていく。）

4) バレーボール

1. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）
2. 対人レシーブ
3. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択）
4. ゲーム

5) 硬式テニス

1. ストローク、ボレー、サービス、リターンの試技
2. ゲーム（シングルス）

6) 体操競技

男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。

女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。

7) ダンス

1. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。
2. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。

8) 柔 道

1. 受身
2. 立技
3. 寝技
4. 乱取

9) 剣 道

1. 切り返し
2. 応じ技
3. 互角稽古・試合稽古

志望専門別に受験すること。

作曲

実施内容及び留意事項

- ア 与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間 1 時間 30 分)
 イ 与えられたテーマ又はモチーフに基づいて、ピアノ曲を作る。(制作時間 2 時間)
 (注) ア、イともに試験中の楽器の使用は認めない。

声楽

実施内容及び留意事項

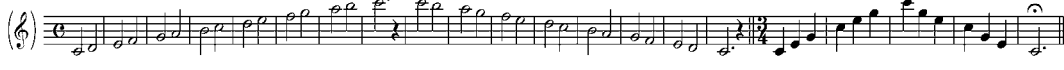
自由曲 2 曲

- (注) 1 歌詞は原語とし、暗譜で歌うこと。
 2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。
 3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
 4 **伴奏用楽譜(歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの)を提出すること。**ただし、1 ページの大きさは B 5 判(縦 257 mm×横 182 mm)とし、志願者氏名を明記の上、出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。
 5 伴奏者は本学で配置する。

器楽

自由曲については、作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

楽器	実施内容及び留意事項
ピアノ	ア、イの順に暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。 使用する楽譜の版は指定しない。 ア L. v. Beethoven : ピアノソナタより任意の 1 曲を選択し、第 1 楽章を演奏すること。ただし、Op. 49-1, Op. 49-2, Op. 79を除く。 また、Op. 27-1, Op. 101, Op. 109を選択した場合は、第 1, 2 楽章を演奏すること。Op. 27-2を選択した場合は第 3 楽章を演奏すること。 イ 自由曲 下記の作曲者の作品より任意の 1 曲(ソナタの場合は 1 つの楽章) 1) R. Schumann 2) F. Liszt 3) F. Chopin 4) J. Brahms 5) F. Mendelssohn
フルート オーボエ クラリネット ファゴット サクソフォン	下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 長調の音階及び半音階(調及びアーティキュレーションは当日指定) イ 自由曲 1 曲

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
トランペット ホルン トロンボーン バス・トロンボーン ユーフォニアム テューバ	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 次の譜例により、長調の音階 2 オクターブ及び分散和音（調は当日指定）</p> <p>M.M. ♩=88 Listesso tempo</p>  <p>イ 自由曲 1 曲</p>
打 楽 器	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 小太鼓の基本奏法 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち (緩→急→緩 等, 当日指定), ロール (<, >, < > 等, 当日指定)</p> <p>イ 小太鼓, マリンバのいずれかをういた自由曲 1 曲 (注) マリンバ (5オクターブ半), 小太鼓, スタンド, パチ置きは貸出し可能</p>

(6) - 2 実技検査の採点・評価基準

学科・専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	選択した1種目についての、 運動技能に関する検査	種目固有の運動技能を体力・技術・ 戦術等の視点から総合的に採点・評価 する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース【音楽分野】	作曲, 声楽, 器楽から一つを 選択	創作能力・演奏技術及び音楽性につ いて審査し, 総合的に評価する。

(7) 面接（口述試験を含む）の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	将来, 小学校, 中学校の技術教育 に関わる教員となるのにふさわ しい資質と, 技術や技術教育に 関する知識・関心・理解をみる内 容を問う。くわえて, 数学・理科 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 物理基礎の範 囲) に関する小問をその場で課 し, 口頭で回答を求める。	小学校, 中学校の技術教育に関わ る教員への意欲, 技術や技術教育に 関する知識・理解・関心・意欲・適 性及び面接時における話の要点や論 理性などを総合的に評価する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	スポーツ・健康に関する理解と 関心度と, それに対する表現力を みる内容を問う。	スポーツ・健康への興味・関心・ 知識・意欲・表現等を総合的に採点・ 評価する。

Ⅱ 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注1)
柏原・天王寺		幼小教育専攻(注2)	幼児教育コース	5人
			小学校教育コース	17人
柏原	学校教育 教員養成課程	次世代教育専攻	教育探究コース	10人
			教科教育専攻	国語教育コース
		英語教育コース		8人
		社会科教育コース		14人
		理科教育コース		10人
		家政教育コース		4人
		保健体育コース		5人
		音楽教育コース		6人
		美術・書道教育コース【美術分野】		3人
		特別支援教育専攻	7人	
	教育協働学科	教育イノベーション専攻	環境安全科学コース	10人
グローバル教育専攻		日本語教育コース	5人	
		国際協働英語コース	5人	
教育学部合計				119人

(注1) 合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注2) 学校教育教員養成課程幼小教育専攻(幼児教育コース及び小学校教育コース)は、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

2 出願資格及び要件

次のいずれかに該当する者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目(43～47頁の「令和7年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の実施教科・科目等について」を参照)を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。(リスニングテスト免除者は除く。配点については、48～49頁を参照)

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、学校教員となることを強く志望する者</p> <p>(4) 学校教育のさまざまな現代的課題に対して強い関心を持ち、教育科学に関わる学際的な知識を学んで、学校教育のあり方を探究していこうとする意欲を持つ者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、国語の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 理科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の理科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者</p> <p>(4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体種目で都道府県大会決勝進出以上の成績を収めた者又は個人種目で各ブロック高体連主催の大会でベスト16以上の成績を収めた者</p> <p style="padding-left: 40px;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バドミントン、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳）</p> <p style="padding-left: 40px;">各ブロック高体連主催大会名（個人種目のみ対象） 全道高校体育大会、東北高等学校選手権大会、関東高等学校体育大会、北信越高等学校体育大会、東海高等学校総合体育大会、近畿高等学校（種目名）大会、中国高等学校選手権大会、四国高等学校選手権大会、全九州高等学校体育大会</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.6以上の者で、音楽の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であり、かつ美術に関する科目の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 美術教育への深い関心と実技能力を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者</p> <p>※書道分野については、学校推薦型選抜の募集は行いません。</p>
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者</p>
教育協働学科 教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 身近な暮らしの環境から地球環境に至る幅広い課題の探究に強い関心を持ち、自然科学や生活科学、安全科学など多様な専門的知識・技能を融合して、自然環境、生活環境にかかわる教育課題の解決と豊かで安全な環境づくりに貢献することを望む者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻・コース	出願資格及び要件
教育協働学科 グローバル教育専攻 日本語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 日本語・日本文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者</p>
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 多様な文化、考え方を尊重し、高度な英語運用能力をもって積極的に発信、コミュニケーションを行うとともに、国際的な視野から新たな教育のあり方の創造や教育課題の解決に貢献することを望む者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和6年11月1日（金）から令和6年11月8日（金）まで（11月8日必着）

(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A, B, Cの順番で全ての手続きが必要です。なお、各手続きには受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和6年10月25日（金）9時～令和6年11月8日（金）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和6年10月25日（金）9時～令和6年11月8日（金）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和6年11月1日（金）～令和6年11月8日（金）必着※

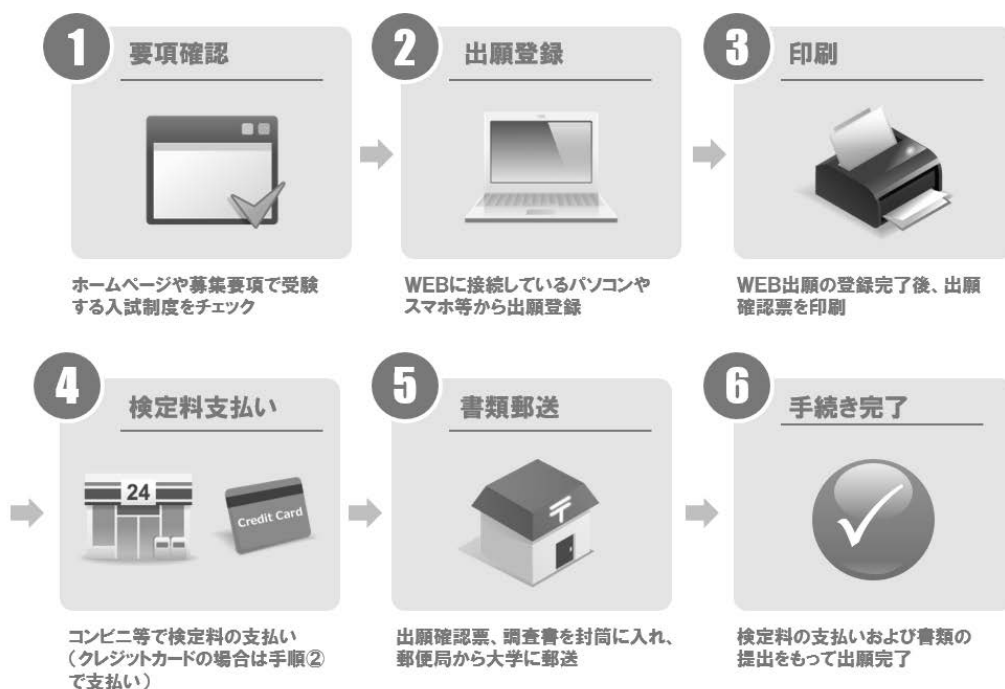
※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月6日（水）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

※不備がある場合等、出願書類の件で連絡する場合があります。出願期間中は必ず連絡をとれるようにしておいてください。（インターネット出願で登録した電話番号又はメールアドレスに連絡します。）

電話の場合は 072-978-XXXX からかかってきます。（最後4桁は変わります。）
メールの場合は nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp から届きます。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、73頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和6年10月25日(金)9時00分～令和6年11月8日(金)12時00分(日本時間)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和6年10月25日(金)9時00分～令和6年11月8日(金)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,410円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代410円)
その他に入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(451円)がかかります。

- 2 支払方法

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA,MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、 デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。

- 3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は65頁7の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)、熊本地震(平成28年4月14日)及び能登半島地震(令和6年1月1日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoyou_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和6年11月1日(金)～令和6年11月8日(金)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月6日(水)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

1. 出願期間内に提出する書類等

	書類等	提出該当者	摘要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出願確認票	全員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 受験票・写真票	全員	写真は2枚(同一)が必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、背景無地、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。) ※受験票は、出願受理後、受験番号押印の上、大学から発送しますので、切り離さないでください。(11月15日(金)発送予定)
	③ 書類確認票	全員	必要な書類を確認し、揃っていればチェック欄にレ印を入れ、氏名を記入してください。
	④ 送付ラベル	全員	出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑥から⑨は本学ウェブページから所定の様式を印刷してください)	⑤ 調査書	全員	出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 推薦書	全員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑦ 志望理由書	全員	本学所定の様式をA4用紙に片面印刷し、志願者本人が自筆で作成してください。字数については、専攻・コースにより異なるので、38頁「志望理由書の字数について」を確認してください。 なお、教員養成課程用と教育協働学科用の2種類の様式があるため、注意してください。※様式は本学ウェブページに掲載しています。
	⑧ 活動報告書	教育探究コース 志望者のみ	本学所定の様式をA4用紙に片面印刷し、志願者本人が自筆で作成してください。 ※様式は本学ウェブページに掲載しています。
	⑨ 競技成績に関する証明書	保健体育コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合の公式記録あるいは公的記録 (各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑩ 英語能力測定試験に関する証明書	英語教育コース・ 国際協働英語コース 志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、38～39頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、TOEIC®(L&R)のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出 してください。
⑪ 伴奏用楽譜	幼児教育コース・ 音楽教育コース 志望者のみ	音楽実技実施に必要な伴奏用楽譜は、B4版とし志願者氏名を明記してください。(1ページの大きさはB5版)50～51頁を参照してください。	

2. 到着次第、送付する書類 **※試験実施後の提出となりますので、注意してください。**

	書類等	提出該当者	摘要
共通テスト成績請求票送付用紙		全員	共通テスト成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズで印刷し「令和7共通テスト成績請求票」(国公立推薦型選抜用)を貼付して、令和6年12月23日(月)必着で郵送してください。※提出が遅れる場合は、必ず入試課へ連絡してください。

(参考) 専攻・コース別の必要書類一覧 (課す推薦・教員養成課程)

35頁の出願書類等について、専攻・コース毎に必要な書類が異なります。

下記の一覧表を確認し、出願時に不足等のないようにご注意ください。

書類名	幼児教育	小学校教育	教育探究	国語教育	英語教育	社会科教育	理科教育	家政教育	保健体育	音楽教育	美術・書道教育	特別支援教育
出願確認票	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
受験票・写真票	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
書類確認票	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
送付ラベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志望理由書 (教員養成課程用)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志望理由書 (教育協働学科用)												
活動報告書			○									
競技成績に関する証明書									○			
英語能力測定試験に関する証明書					● ※1							
伴奏用楽譜	○									● ※2		

○が全員必要な書類, ●が該当者のみ必要な書類になります。

※1 英語教育コース志望者で英語能力測定試験の成績利用 (加点) 申請を行う場合

※2 音楽教育コースの実技 (歌曲) を移調して歌う場合

(参考) 専攻・コース別の必要書類一覧 (課す推薦・教育協働学科)

35頁の出願書類等について、専攻・コース毎に必要な書類が異なります。

下記の一覧表を確認し、出願時に不足等のないようにご注意ください。

書類名	環境安全科学	日本語教育	国際協働英語
出願確認票	○	○	○
受験票・写真票	○	○	○
書類確認票	○	○	○
送付ラベル	○	○	○
調査書	○	○	○
推薦書	○	○	○
志望理由書 (教員養成課程用)			
志望理由書 (教育協働学科用)	○	○	○
活動報告書			
競技成績に関する証明書			
英語能力測定試験に関する証明書			●※1
伴奏用楽譜			

○が全員必要な書類, ●が該当者のみ必要な書類になります。

※1 国際協働英語コース志望者で英語能力測定試験の成績利用 (加点) 申請を行う場合

志望理由書の字数について

課程・学科・専攻・コース	指定字数
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	800字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	800字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース【美術分野】	800字程度
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	800字程度
教育協働学科 教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	600字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 日本語教育コース	400字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	400字程度

(4) 英語能力測定試験の成績利用

1. 学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース

教科教育専攻 英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストの得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

共通テストへの得点加算	実用英語技能検定(英検) *	TOEFL iBT®	IELTS **	TOEIC® (L&R)	GTEC CBTタイプ/ GTEC 検定版 2022年度受検 ***	GTEC CBTタイプ/ GTEC 検定版 2023年度以降受検 ***
30点	準1級以上	80以上	6.0以上	730以上	1190以上	1180以上
15点	2級	65以上	5.0以上	600以上	1070以上	1060以上

*英検は従来型の英検に加えて、英検S-CBT、英検CBT、英検S-Interviewを対象とします。

**「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

***「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

また、GTECの受検年度で加点対象の成績の条件が異なるため、注意してください。

英語能力測定試験の提出書類 (教科教育専攻 英語教育コース)

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入学共通テストの得点の合計点に得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、TOEIC®(L&R)のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。(次頁参照)出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類(成績証明書など)
実用英語技能検定(英検)	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form(成績証明書)
TOEIC®(L&R)	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate(公式認定証) 又はデジタル公式認定証(2023年度以降受検分)
GTEC CBTタイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

(注1) 複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

(注2) 提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

2. 教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース

グローバル教育専攻 国際協働英語コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

合計点への 得点加算	実用英語技能 検定（英検） ＊	TOEFL iBT®	IELTS ＊ ＊	GTEC CBT タイプ/ GTEC 検定版 ＊ ＊ ＊
100 点	準 1 級以上	72 以上	6.0 以上	1200 以上
40 点		65 以上	5.5 以上	1110 以上
20 点		60 以上	4.5 以上	1010 以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊ ＊ 「IELTS」はアカデミック・モジュールのみを対象とします。

＊ ＊ ＊ 「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

英語能力測定試験の提出書類（グローバル教育専攻 国際協働英語コース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点に得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

※原本証明について

原本証明とは、原本の写し（コピー）が原本と相違ないことを学校長に証明していただくものです。成績証明書などをコピーで提出する際は、記載例を参考にしてください。

（記載例）原本の写し（コピー）の余白部分に記載

この写しは原本と相違ないことを証明します。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇学校長 〇〇〇〇	公印
--	----

(5) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和6年10月18日(金)までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課(受付時間:平日9:00~17:00)

【TEL:072-978-3324 メールアドレス:nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム(受付時間:平日9:00~17:00)

【TEL:072-978-3479 メールアドレス:sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(6) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す(特別枠を含む)場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 本学が各募集区分で指定した令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを確認してください。(43~47頁, 70~72頁参照)

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和6年11月23日(土)

ただし、学校教育教員養成課程教科教育専攻美術・書道教育コース【美術分野】は、志願者数によっては、11月24日(日)にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検査時間	
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	実技・面接	10:00～
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	実技 面接	10:00～13:00 14:30～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	実技	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	実技(11/23) 面接(11/23) 面接(11/24)	10:00～13:00 14:30～ 10:00～(*) * 志願者数によっては、実施しない場合があります。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	面接	10:00～
教育協働学科 教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	面接	10:00～
教育協働学科 グローバル教育専攻 日本語教育コース	面接	10:00～
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	面接	10:00～

※志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選 抜 方 法
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書），実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，活動報告書）及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書）及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	大学入学共通テスト（6教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	大学入学共通テスト（6教科6科目），出願書類（学校長が作成した調査書，推薦書及び競技成績に関する証明書，志望理由書），実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	大学入学共通テスト（6教科6科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び実技検査を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	大学入学共通テスト（6教科6科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書），実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
教育協働学科 教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 日本語教育コース	大学入学共通テスト（4教科4科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書）及び面接を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	大学入学共通テスト（4教科4科目），出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書）及び面接を総合して行う。

※総合得点が著しく低い者，又は総合得点が低く大学入学共通テストの成績又は個別学力検査の成績のいずれかが著しく低い者については，募集人員に満たない場合でも，不合格とすることがあります。

(4) 令和7年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の実施教科・科目等について

共通テストを課す学校推薦型選抜で、本学が課す令和7年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は46～47頁のとおりです。(配点については48～49頁を参照してください。)

また、注意事項及び大学入学共通テストの本学での科目選択パターンについて43頁～45頁に記載していますので、必ず併せてご確認ください。
 なお、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。
 また、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 教科・科目名は次のように略しています。

『国語』→『国』, 『外国語』→『外』, 『地理歴史』→『地歴』(公民はそのまま), 『数学』→『数』, 『理科』→『理』, 『情報』→『情』
 『英語(リスニング含む)』→『英(リ)』, 『ドイツ語』→『独』, 『フランス語』→『仏』, 『中国語』→『中』, 『韓国語』→『韓』
 『地理総合, 地理探究』→『地総, 地探』, 『歴史総合, 日本史探究』→『歴総, 日探』, 『歴史総合, 世界史探究』→『歴総, 世探』,
 『地理総合/歴史総合/公共』→『地総/歴総/公』, 『公共, 倫理』→『公, 倫』, 『公共, 政治・経済』→『公, 政経』,
 『数学Ⅰ, 数学A』→『数Ⅰ, 数A』, 『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』, 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』→『数Ⅱ, 数B, 数C』,
 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』→『物基/化基/生基/地基』, 『物理』→『物』, 『化学』→『化』, 『生物』→『生』,
 『地学』→『地』, 『情報Ⅰ』→『情Ⅰ』

(※) 地理歴史と公民は独立した教科なので、それぞれ1教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

(※) 『地理総合/歴史総合/公共(地総/歴総/公)』は地歴と公民両方の範囲を含むため、それぞれの欄に記載しています。

そのため、公民の欄に記載する際は『地総/歴総/公(再掲)』としていますのでご注意ください。

なお、本学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについては、45頁をご確認ください。

(注2) 『地理総合/歴史総合/公共』は「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

なお、地理歴史及び公民で2科目を選択する場合、選択できない組合せがあるため注意してください。(以下の注意書き及び下表参照)

・『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せを選択することはできません。

・『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合において、選択解答が可能な組合せは次のとおりとなるので注意してください。

『地理総合, 地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ

『歴史総合, 日本史探究』又は『歴史総合, 世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

『公共, 倫理』又は『公共, 政治・経済』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

(解答順は順不同)	『地理総合, 地理探究』	『歴史総合, 日本史探究』	『歴史総合, 世界史探究』	『公共, 倫理』	『公共, 政治・経済』	『地理総合/歴史総合/公共』		
						「地理総合」と「歴史総合」	「地理総合」と「公共」	「歴史総合」と「公共」
『地理総合, 地理探究』	○	○	○	○	○	×	×	○
『歴史総合, 日本史探究』	○	○	○	○	○	×	○	×
『歴史総合, 世界史探究』	○	○	○	○	○	×	○	×
『公共, 倫理』	○	○	○	○	×	○	×	×
『公共, 政治・経済』	○	○	○	×	○	○	×	×

(注3) 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』について、「数学B」及び「数学C」については、数列(数学B), 統計的な推測(数学B), ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目を出題範囲とし、そのうち3項目を選択解答します。

(注4) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

なお、理科で2科目を選択する場合のうち、『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』並びに『物理』, 『化学』, 『生物』及び『地学』から1科目を選択する場合において、「同一名称を含む科目の組合せ」を選択することはできません。

「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。(選択できる組合せについては、下表を参照してください。)

(解答順は順不同)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』					
	「物理基礎」と「化学基礎」	「物理基礎」と「生物基礎」	「物理基礎」と「地学基礎」	「化学基礎」と「生物基礎」	「化学基礎」と「地学基礎」	「生物基礎」と「地学基礎」
『物理』	×	×	×	○	○	○
『化学』	×	○	○	×	×	○
『生物』	○	×	○	×	○	×
『地学』	○	○	×	○	×	×

(注5) 大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用品。ただし、地歴、公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用品。

(注6) 大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。(リスニングテスト免除者は除く。)
リスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験100点満点を200点満点に換算した成績を用品。
また、英語以外の外国語を受験した場合は、筆記(200点満点)の成績をそのまま用品。

(注7) 大学入学共通テストの情報は、100点満点を50点満点に換算した成績を用品。(48頁参照)

【個別学力検査等】欄

(注8) 「活動報告書」とは、高校時代等に行った活動実績の概要を記載し、そこで身につけた能力、スキルや経験が教職に就くためにどのように役立つのかなどを記載するものです。

(注9) 英語能力測定試験の詳細については、38～39頁を参照してください。

大学入学共通テストの受験教科・科目を検討する際は、70～72頁の確認表を活用してください。自身が選択する組合せで本学を受験可能か不安な場合は、大学入学共通テストの出願前に本学入試課までお問い合わせください。

令和7年度大阪教育大学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについて

大学入学共通テストの利用教科・科目名			
科目 パターン	教科	科目名等	
A (文理)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』	から1
	地歴 公民	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2
		『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数I, 数A』, 『数I』	から1
		『数II, 数B, 数C』(注3)	必須
	理 情	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4)	から1又は2
『情I』(注7)		必須	
(6教科8科目又は7教科8科目)			
B (文系)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』	から1
	地歴 公民	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2)	から2
		『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数I, 数A』, 『数I』	から1
		『数II, 数B, 数C』(注3)	必須
	理 情	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4)	から1
『情I』(注7)		必須	
(6教科8科目又は7教科8科目)			
C (理系)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』	から1
	地歴 公民	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2)	から1
		『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数I, 数A』, 『数I』	から1
		『数II, 数B, 数C』(注3)	必須
	理 情	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4)	から2
『情I』(注7)		必須	
(6教科8科目)			
D (文理)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』	から1
	地歴 公民	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2)	から1
		『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数I, 数A』, 『数I』	から1
		『数II, 数B, 数C』(注3)	から1
	理 情	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4)	から1
『情I』(注7)		必須	
(6教科6科目)			
E (文理)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』	から1
	地歴 公民	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』, 『地総/歴総/公』(注2)	から1
		『公, 倫』, 『公, 政経』, 『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数I, 数A』, 『数I』	から1
		『数II, 数B, 数C』(注3)	
	理 情	『物基/化基/生基/地基』, 『物』, 『化』, 『生』, 『地』(注4)	
『情I』(注7)		必須	
(4教科4科目)			

学部	課程・専攻・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
		パターン	教科	科目名等	教科等		科目名等	
教育学部	学校教育専攻 幼稚園教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	実技検査 面接
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
			地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2	から1又は2※ から1 必須 から1又は2※ 必須			
	小学校教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	面接
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
			地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2	から1又は2※ から1 必須 から1又は2※ 必須			
	次世代教育専攻 教育探究コース	A (文理)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	面接 活動報告書(注8)
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
			地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2	から1又は2※ から1 必須 から1又は2※ 必須			
	教科教育専攻 国語教育コース	B (文系)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	面接
外			『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴 公民 数			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目又は7教科8科目)	から2 から1 必須 から1 必須				
英語教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	面接(英語での受け答え含む)	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
		地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2 ※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に得点加算します。(注9)	から1又は2※ から1 必須 から1又は2※ 必須				
社会科教育コース	B (文系)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	面接	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
		地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目又は7教科8科目)	から2 から1 必須 から1 必須				
理科教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	面接	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
		地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目)	から1 から1 必須 から2 必須				
家政教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	面接	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
		地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科8科目又は7教科8科目) ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2	から1又は2※ から1 必須 から1又は2※ 必須				
保健体育コース	D (文理)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	実技検査 面接 競技成績に関する証明書	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
		地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科6科目)	から1 から1 必須 から1 必須				
音楽教育コース	D (文理)	国	『国』	必須	共通テストを課す 推薦	その他	実技検査	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
		地歴 公民 数	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2) 『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2) 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』(注3) 『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4) 『情Ⅰ』(注7) (6教科6科目)	から1 から1 必須 から1 必須				

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については、43～45頁も参照してください。

学部	課程・学科・専攻・コース		大学入学共通テストの利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
			パターン	教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	学校教育専攻 美術・書道教育コース	D (文理)	国外	『国』	必須	共通テストを課す推薦	その他	実技検査 面接	
			地歴	『英(1)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1						
	数	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
理	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1							
情	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1							
情報	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1							
	『情Ⅰ』(注7)	必須							
	(6教科6科目)								
	※【美術分野】のみ共通テストを課す推薦を実施します。(【書道分野】は実施しません。)								
	特別支援教育専攻	A (文理)	国外	『国』	必須	共通テストを課す推薦	その他	面接	
地歴			『英(1)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※							
数	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1							
理	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1							
情	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須							
情報	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※							
	『情Ⅰ』(注7)	必須							
	(6教科8科目又は7教科8科目)								
	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
教育イノベーション専攻	環境安全科学コース	A (文理)	国外	『国』	必須	共通テストを課す推薦	その他	面接	
			地歴	『英(1)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※						
	数	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
理	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1							
情	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須							
情報	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※							
	『情Ⅰ』(注7)	必須							
	(6教科8科目又は7教科8科目)								
	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
グローバル教育専攻	日本語教育コース	E (文理)	国外	『国』	必須	共通テストを課す推薦	その他	面接	
			地歴	『英(1)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1						
	数	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
理	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1							
情	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須							
情報	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須							
	『情Ⅰ』(注7)	必須							
	(4教科4科目)								
	国際協働英語コース	E (文理)	国外	『国』	必須	共通テストを課す推薦	その他	面接	
地歴			『英(1)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1							
数	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1							
理	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1							
情	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須							
情報	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須							
	『情Ⅰ』(注7)	必須							
	(4教科4科目)								
	※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点に得点加算します。(注9)								

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については、43～45頁も参照してください。

(5) 令和7年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の配点等について

共通テストを課す学校推薦型選抜における令和7年度大学入学共通テスト及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・学科・専攻・コース		試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加點	
教育学部	学校教育専攻	幼児教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1450		
			個別学力検査等									200	300					500
	学校教育専攻	小学校教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250		
			個別学力検査等									300			300			
	次世代教育専攻	教育探究コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1340		
			個別学力検査等									300		◎90	390			
	教科教育専攻	国語教育コース	共通テスト	200	200	200	100	200	50							950	1250	
			個別学力検査等									300			300			
		英語教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★400	50							1150	1550	最大 30
			個別学力検査等									400			400			
		社会科教育コース	共通テスト	200	★400	200	100	200	50							1150	1500	
			個別学力検査等									350			350			
		理科教育コース	共通テスト	200	100	200	★400	200	50							1150	1550	
			個別学力検査等									400			400			
		家政教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1550	
			個別学力検査等									600			600			
	保健体育コース	共通テスト	200	100	100	100	200	50							750	1310		
		個別学力検査等									210	200	150		560			
	音楽教育コース	共通テスト	200	100	100	100	200	50							750	1310		
個別学力検査等										560				560				
美術・書道教育コース 【美術分野】	共通テスト	200	100	100	100	200	50							750	1450			
	個別学力検査等									500	200			700				
特別支援教育専攻	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1250			
	個別学力検査等									300			300					
教育協働学科	教育シヨーンパー 専攻	環境安全科学コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550		
			個別学力検査									600		600				
	グローバル 教育専攻	日本語教育コース	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50						550	850		
個別学力検査											300			300				
国際協働英語コース	共通テスト	200	*100	*100	*100	★400	50							750	1050	最大 100		
	個別学力検査									300			300					

配点欄における記号・注釈について

※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。

(選択できる科目数については43～47頁を参照してください。)

*印は、選択教科を表しています。(選択教科については43～47頁を参照してください。)

★印は、傾斜配点をしている教科を表しています。(傾斜配点については49頁を参照してください。)

◎印は、活動報告書を表しています。

傾斜配点について

大学入学共通テストの外国語「英語」でリスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験100点満点を200点満点に換算した成績を用います。

また、「英語」以外の外国語を受験した場合は、筆記(200点満点)の成績をそのまま利用します。(ただし、英語教育コース及び国際協働英語コースは400点満点に換算します。)

その他、大学入学共通テストの1つ又は2つの教科に傾斜をかけている専攻・コースと、その教科・係数等は下表のとおりです。

なお、傾斜配点により端数が生じた場合は、四捨五入を行います。

課程・学科・専攻・コース	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	共通テスト 配点合計
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	外国語	200	2	400	1150
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	地理歴史 及び公民(注)	200	2	400	1150
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	理科	200	2	400	1150
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	外国語	200	2	400	750

(注)地理歴史及び公民から合わせて2科目。(43～47頁を参照してください。)

(6) 実技検査

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
<p>学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース</p>	<p>次のⅠ・Ⅱの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. ピアノ 任意のピアノ演奏用独奏曲（バロックから近現代まで）を1曲演奏する。 (注) 1. ピアノ演奏用独奏曲とは、ピアノのために作曲された独奏曲である。 2. 上記の曲は、楽譜が刊行されている曲に限る。 3. 他の楽器のために作られた曲、簡易楽譜に編曲された曲は認めない。 4. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお、演奏の途中で中止させる場合がある。 5. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u></p> <p>Ⅱ. 歌 唱 下記の5曲から任意の1曲を歌う。 1) アイスクリームのうた (作詞：佐藤義美 作曲：服部公一) 2) マーチング・マーチ (作詞：阪田寛夫 作曲：服部公一) 3) びわ (作詞：まどみちお 作曲：磯部俣) 4) 小さい秋みつけた (作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直) 5) めえめえ児山羊 (作詞：藤森秀夫 作曲：本居長世) (注) 1. 暗譜で歌うこと。 2. はじめの音を与えるので、伴奏なしで歌うこと。 3. 歌唱の途中で中止させる場合がある。 4. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜（移調して歌う場合は、移調した楽譜）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u></p>
<p>学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース</p>	<p>保健体育実技検査：保健体育実技技能に関するテスト</p> <p>A. 体づくり運動は全員が行う。 B～Dの中から2つを出願時に選択すること。 出願後の変更は認めない。</p> <p>A. 体づくり運動：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から、当日指定された体操を行う。 B. 陸上運動：ハードル走（ただし、(1)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） C. 器械運動：マット運動（ただし、(12)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） D. 球 技：バスケットボール（ただし、(2)～(11)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。）</p> <p>(1) 陸上競技 (7) 卓 球 (13) ダンス (2) バスケットボール (8) 硬式テニス (14) 柔 道 (3) サッカー (9) ソフトテニス (15) 剣 道 (4) ラグビーフットボール (10) 硬式野球 (16) 水泳競技（競泳） (5) バレーボール (11) バドミントン (6) ハンドボール (12) 体操競技</p>

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	<p>次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. 歌 曲 下記の2曲から任意の1曲を歌う。 1) Caro mio ben G. Giordani (F, Es, D, C-Dur) 2) Sogno F. P. Tosti (As, B-Dur)</p> <p>(注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. <u>上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u> 3. 伴奏者は本学で配置する。</p> <p>Ⅱ. ピアノ 次の1), 2)からそれぞれ1曲ずつ、計2曲を演奏する。 1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章（ただし緩徐楽章は除く） 2) ロマン派又は近現代の曲（ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。）</p> <p>(注) 1. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。 なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. <u>選んだ2曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u></p> <p>Ⅲ. 楽 典 (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	<p>次の検査を実施する。 鉛筆による静物デッサン</p> <p>(注) 1 鉛筆、消しゴム（ねり消しゴムを含む）、羽根ボウキは使用可。 (各自持参すること) それ以外の道具は使用不可とする。 2 カルトン、画用紙、クリップは本学で準備する。 3 鉛筆の硬度は問わない。</p>

(6) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・専攻・コース	実施内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	Ⅰ. ピアノ Ⅱ. 歌 唱	幼児教育において必要な表現力及び基礎技能について評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査 保健体育実技技能に関するテスト	小学校の体育、中学校・高等学校の保健体育の実技を指導するために必要な運動能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	Ⅰ. 歌 曲 Ⅱ. ピアノ Ⅲ. 楽 典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術、表現力等について検査する。 併せて、実技に必要な基礎的知識についても審査し、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	鉛筆による静物デッサン	図工・美術教育に必要とされる基礎的な造形能力（構成・対象把握）や表現力などを総合的に評価する。

(7) 面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	幼児教育に関する理解・関心度・意欲をみる内容を問う。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性についても評価する場合がある。
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	面接をとおして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	学校教育のさまざまな現代的課題への強い関心と、教育科学に関わる学際的な知識をもとに学校教育のあり方を探究しようとする意欲、ならびに、将来、学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	学校教育の現代的課題への関心、学校教育のあり方を探究しようとする意欲、学校教育の教員への意欲と、認識や洞察の深さなどについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	将来、国語科分野の小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために、教育に関する問題意識・態度について尋ね、くわえて、日本語に関する言語知識及び言語文化について小文を提示し、その場で課題を課し、口頭で回答を求めらる。	面接をとおして、日本語に関する言語知識及び言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ、応答における論旨の明確さ、洞察の深さ、論展開の的確さ、言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ、国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	将来、小学校、中学校、高等学校の英語教員となるのにふさわしい資質と英語教育に関する問題意識・関心度及び英語運用能力をみる内容を問う。	英語教育に関する問題意識・関心度及び英語運用能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	将来、小学校、中学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる内容を問う。	小学校、中学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校・高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	面接をとおして、自然科学に関する知識や理解度と小学校、中学校・高等学校の理科教員への資質を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員にふさわしい資質をみる内容を問う。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員としての資質を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	将来、小学校の教員、中学校・高等学校の保健体育教員となるのにふさわしい資質と、保健体育科目に関する関心・知識・理解力をみる内容を問う。	小学校の教員、中学校・高等学校の保健体育教員への意欲、保健体育科目に関する関心・知識・理解力を総合的に捉え採点・評価する。

課程・学科・専攻等	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質と美術に関する知識・関心・理解度をみる内容を問う。	小学校、中学校の教員への意欲・適性、美術に関する知識・関心・理解、面接時の対応や話の論理性などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育への理解と関心、また将来、特別支援教育に携わる教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	特別支援教育に関する知識と理解力、特別支援教育をとりまく諸課題に対する洞察力、障がいのある子どもに関わることへのやりがいと使命感、特別支援教育の教職に就くことへの意欲などについて総合的に採点・評価する。
教育協働学科 教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	自然科学、生活科学、安全科学に関する知識と理解力、関心度をみる内容を問う。	面接をとおして、課題についての理解度、意欲、対応力をみるほか、自然科学・生活科学・安全科学に関する探究心を総合的に評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 日本語教育コース	日本語および日本の社会・文化・教育やグローバル化する世界と地域に関する問題意識、知識や理解力、自らの意見を的確に表現する力をみる内容を問う。	日本語および日本の社会・文化・教育やグローバル化する世界と地域に関する問題意識、知識や理解力、表現力を総合的に評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解と認識をみる内容を問う。	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解、認識、探究心及び運用能力を総合的に評価する。

(8) 活動報告書の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における活動の内容についての報告書の提出を求める。	高等学校における学内外の活動の具体的内容とその活動に関する振り返りによって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性について総合的に評価する。

Ⅲ 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 (特別枠)

1 募集人員

キャンパス	課程	専攻	コース	募集人員(注1)
柏原・天王寺	学校教育 教員養成課程	幼小教育専攻(注2)	小学校教育コース	5人
教 育 学 部 合 計				5人

(注1) 合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注2) 学校教育教員養成課程幼小教育専攻小学校教育コースは、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

2 出願資格及び要件

以下に該当する者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が募集区分で指定した教科・科目(61頁の「令和7年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)の実施教科・科目等について」を参照)を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。(リスニングテスト免除者は除く。なお、配点については61頁を参照)

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は(4)の①に該当する場合は1校5名以内、②に該当する場合は1校2名以内とし、①②合わせて1校5名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を令和7年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和6年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 将来にわたり大阪府内の小学校での学校教育に携わることを強く志望する者</p> <p>(3) 将来にわたり大阪府内の小学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると学校長が判断する者</p> <p>(4) 次のいずれかに該当する者</p> <p>①高等学校在学中に教育に関する科目を4単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>②高等学校在学中に教育委員会や大学が主催する教員養成に関する高校生対象の教育プログラム等(15時間以上のものに限る)に在学校の了解を得て参加し、修了又は修了見込みの者</p> <p>※本学開講の教育プログラム以外については、出願資格に該当するかどうかを、10月21日(月)までに、必ず入試課までご確認ください。</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和6年11月1日（金）から令和6年11月8日（金）まで（11月8日必着）

(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A, B, Cの順番で全ての手続きが必要です。なお、各手続きには受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和6年10月25日（金）9時～令和6年11月8日（金）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和6年10月25日（金）9時～令和6年11月8日（金）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和6年11月1日（金）～令和6年11月8日（金）必着※

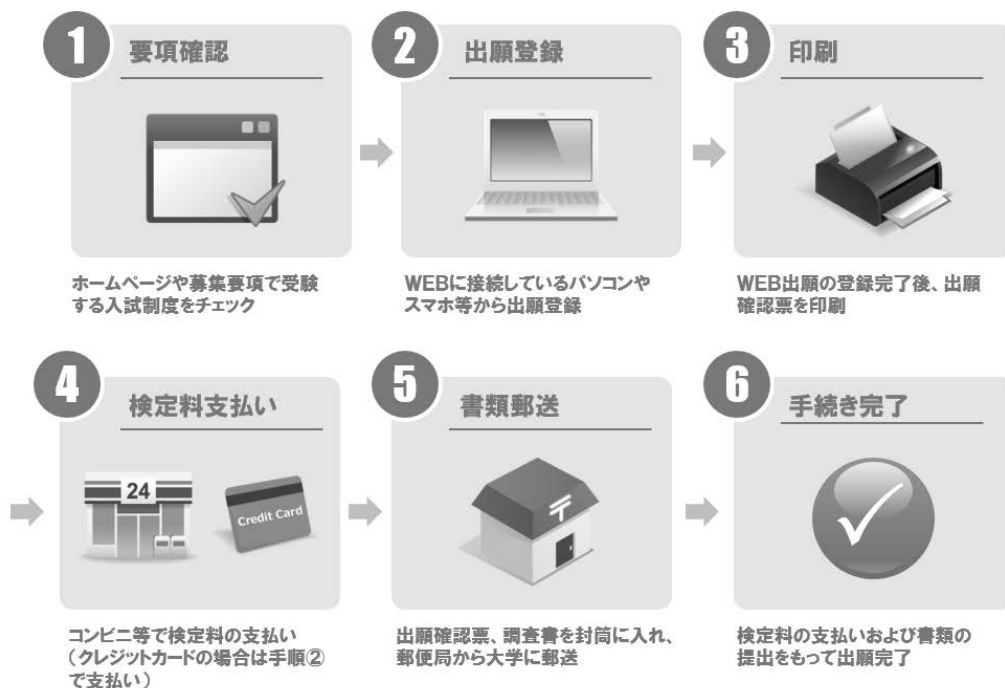
※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月6日（水）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

※不備がある場合等、出願書類の件で連絡する場合があります。出願期間中は必ず連絡をとれるようにしておいてください。（インターネット出願で登録した電話番号又はメールアドレスに連絡します。）

電話の場合は 072-978-XXXX からかかってきます。（最後4桁は変わります。）
メールの場合は nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp から届きます。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、73頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和6年10月25日(金)9時00分～令和6年11月8日(金)12時00分(日本時間)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和6年10月25日(金)9時00分～令和6年11月8日(金)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,410円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代410円)
その他に入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(451円)がかかります。

- 2 支払方法

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA,MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、 デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

- 3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は65頁7の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)、熊本地震(平成28年4月14日)及び能登半島地震(令和6年1月1日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoyu_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和6年11月1日(金)～令和6年11月8日(金)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月6日(水)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

1. 出願期間内に提出する書類等

	書類等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出願確認票	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 受験票・写真票	全 員	写真は2枚(同一)が必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。(カラー、背景無地、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。) ※受験票は、出願受理後、受験番号押印の上、大学から発送しますので、切り離さないでください。(11月15日(金)発送予定)
	③ 書類確認票	全 員	必要な書類を確認し、揃っていればチェック欄にレ印を入れ、氏名を記入してください。
	④ 送付ラベル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑦から⑨は本学ウェブページから所定の様式を印刷してください。)	⑤ 調査書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、出願資格及び要件(4)①で出願する場合で、教育に関する科目4単位について、出願時に修得見込みの場合は、その旨を備考欄に記載してください。
	⑥ 教育プログラム等の修了証書等	出願資格及び要件(4)②で出願する場合のみ	高等学校在学中に修了した教育プログラム等の修了証書等(コピー可)を提出してください。提出いただいた修了証書等は一切返却しません。 【注】コピーで提出する場合は、学校が原本証明したものを必ず提出してください。 また、出願受付期間後に提出することはできません。 なお、出願時に修了見込みの場合は、教育プログラム等の日程や内容を記載したものを添付し、あわせて、修了後、ただちに修了証書等(コピー可)を提出する旨を記載した文書(様式任意)を出身学校長が作成のうえ、提出してください。 ※ ※本学開講の教育プログラム以外については出願資格に該当するかどうかを、10月21日(月)までに必ず入試課までご確認ください。
	⑦ 推薦書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。
	⑧ 同意書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。
	⑨ 志望理由書	全 員	本学所定の様式をA4用紙に片面印刷し、志願者本人が自筆で600字程度で作成してください。 なお、教員養成課程用と教育協働学科用の2種類の様式があるため、注意してください。 ※様式は本学ウェブページに掲載しています。

2. 到着次第、合格内定者が送付する書類 **※合格内定者のみの提出となるため、注意してください。**

書類等	提出該当者	摘 要
共通テスト成績請求票送付用紙	合格内定者のみ	共通テスト成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズで印刷し「令和7共通テスト成績請求票」(国公立推薦型選抜用)を貼付して、令和6年12月23日(月)必着で郵送してください。 ※提出が遅れる場合は、必ず入試課へ連絡してください。

※合格内定者には、合格内定者の発表後に、合格内定通知を発送いたします。

(参考) 専攻・コース別の必要書類一覧 (課す推薦特別枠)

58頁の出願書類等について、下記の一覧表を確認し、
出願時に不足等のないようにご注意ください。

書類名	小学校教育 (特別枠)
出願確認票	○
受験票・写真票	○
書類確認票	○
送付ラベル	○
調査書	○
教育プログラム等の修了証書等	●※1
推薦書	○
同意書	○
志望理由書 (教員養成課程用)	○

○が全員必要な書類，●が該当者のみ必要な書類になります。

※1 出願資格及び要件 (4) ②で出願する場合

(4) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和6年10月18日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324 メールアドレス：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 メールアドレス：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(5) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 本学が各募集区分で指定した令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを確認してください。（61頁，70頁参照）

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日

令和6年11月23日（土）

(2) 検査科目・時間等

課程・専攻・コース	検査時間
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	面接 10：00～

※志願者数によっては、面接の日時を変更することがあります。

その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・専攻・コース	選抜方法
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行い、合格内定者を決定する。 さらに、大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）において本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定する。

※個別学力検査等の総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和7年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)の実施教科・科目等について

共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)で、本学が課す令和7年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。

また、注意事項及び大学入学共通テストの本学での科目選択パターンについて43～45頁に記載していますので、併せてご確認ください。

なお、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、最終合格者として決定しません。また、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

学部	課程・専攻・コース名		大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等	
			パターン	教科	科目名等		教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻 小学校教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	その他	面接
				外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1		
				地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※		
				公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※		
				数	『数I、数A』、『数I』	から1		
				理	『数II、数B、数C』(注3)	から1		
				情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※		
					『情I』(注7)	必須		
					(6教科8科目又は7教科8科目)			
					※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			

(5) 令和7年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)の配点等について

共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)における令和7年度大学入学共通テスト及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・専攻・コース		試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻 小学校教育コース	個別学力検査									300			300	300
			共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950

配点欄における記号・注釈について

※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。
(選択できる科目数については上記(4)を参照してください。)

◆印は、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

(6) 面接(口述試験を含む。)の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	面接をとおして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。

5 入学後の検証等について

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)は、特に、大阪府内の優れた(小学校)教員を養成するという観点から、学力のみならず教員になることへの意欲や適性を重視した選抜を行います。

さらに、入試のみならず、入学されてからも、高大接続の観点から、本人承諾のうえ、入学後の成績を共有するなど、出身高等学校と連携し、本学校推薦型選抜の調査・研究及び効果検証等を行う予定です。

そのため、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)の受験にあたっては、上記趣旨をご理解いただいたうえで、受験していただきますようお願いいたします。

IV 各推薦共通

1 入学試験場

大阪教育大学柏原キャンパス 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車 南東へ約1km
※エスカレーター（上り専用3基乗り継ぎ），途中階段あり

2 受験上の注意

試験中に不正行為等があった者に対しては，受験を停止し，かつ，すべての試験を無効とします。
また，悪質な場合は警察に被害届を提出する場合があります。受験票下部に記載の「受験上の注意事項」及び本学の受験票返送時に同封する「受験者注意事項」等をよく読んでください。

3 合格者の発表

合格者の発表は，大学ウェブページ(https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/goukaku_happyou.html)において掲載します。

合格者には，合格通知書及び入学手続関係書類を郵送しますので，必ず合格通知書で確認してください。
合格者の発表について，電話等による照会には，一切応じません。

また，大学周辺での合格電報等の勧誘・受付等は本学とは一切関係ありません。

なお，学校長には，郵送により通知します。

選 抜 方 法	合 格 発 表 日	時 間
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	令和6年12月 2日（月）	9：00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	令和7年 2月10日（月）	
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	合格内定 令和6年12月 2日（月）※	
	最終合格 令和7年 2月10日（月）※	

※大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）については，提出された書類並びに面接により，総合判定のうえ，合格内定者を決定します。

その後，令和7年度大学入学共通テストにおいて本学の定める教科・科目を受験し，その総合点が満点の60％に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

4 入学手続等

（1）入学手続期限及び方法

入学手続書類を本学所定の封筒に入れ，郵便事情を考慮のうえ，期日に間に合うよう「速達・簡易書留郵便」により郵送してください（合格発表から入学手続までの期間が短いので注意してください）。

やむを得ない事情があって，郵送で入学手続ができない場合には，事前相談のうえ，所定の日時に持参（来学）による入学手続を認めます。詳細は入学手続関係書類を参照してください。

選 抜 方 法	手 続 期 限	
	郵送手続期限（必着）	やむを得ない事情による持参手続
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	令和6年12月13日（金） <u>必着</u>	令和6年12月16日（月） 13：00～15：00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	令和7年 2月18日（火） <u>必着</u>	令和7年 2月19日（水） 13：00～15：00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	令和7年 2月18日（火） <u>必着</u>	令和7年 2月19日（水） 13：00～15：00

なお、入学手続期限までに入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱いますが、その場合においても、65頁(5)により「推薦入学辞退願(様式任意)」を提出しなければ、以後、当該学校は、推薦校として取り扱われないこともありますので、入学辞退の手続は必ず行ってください。

(2) 入学手続書類送付先

大阪教育大学(柏原キャンパス) 学生支援課

※やむを得ない事情による持参手続場所は、大阪教育大学柏原キャンパスとします。

(3) 入学手続に必要なもの

ア 本学受験票

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)の場合は、大学入学共通テストの受験票も必要です。

イ 入 学 料 282,000円

入学手続後、既に納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。(入学辞退の場合も同様。)

下記の期日までに本学所定の方法で納付手続を行ってください。

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜 令和6年12月 9日(月)

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 令和7年 2月17日(月)

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠) 令和7年 2月17日(月)

(注)1 上記記載の金額は、令和6年度入学者の金額であり、令和7年度入学者については、変更される場合があります。なお、詳細については合格者に通知します。

2 入学料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は、66頁を参照してください。

ウ 入学時諸費用

大阪教育大学校友会 70,000円

(内訳:教育振興会費40,000円 同窓会天遊会費30,000円)

(注)1 「大阪教育大学校友会」は、大阪教育大学の構成員である在学生、卒業生・修了生、在学生の父母等、教職員、元教職員等のすべての個人、また、同窓生、教育振興会、大学生協等のすべての団体が大阪教育大学のこれまでの伝統を継承しつつ、さらなる発展と連携を強化する基盤組織として設立しました。

「大阪教育大学校友会」は、教育振興会と同窓生天遊会等と連携し、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業並びに在学生を含む卒業生、修了生の同窓会活動の支援を行っています。

2 入学時のみの費用です。

3 上記記載の金額は、変更される場合があります。詳細については、入学手続関係書類を参照してください。

(4) その他入学に必要な費用

ア 授 業 料

本学では授業料の「口座振替制度(口座引落し)」を実施しており、入学後、学生名義の預金口座から、前期分は4月に、後期分は10月に授業料を引き落とします。

授 業 料 (前期分) 267,900円

(年 額) 535,800円

(注)1 上記記載の金額は、令和6年度入学者の金額であり、令和7年度入学者については、変更される場合があります。なお、詳細については合格者に通知します。

2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3 授業料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は、66頁を参照してください。

4 このほか在学中に、テキスト代や英語能力測定試験、実習等の経費、課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

(5) 入学辞退について

合格者で特別の事情があつて推薦入学を辞退する場合は、当該者の推薦を行った学校長と連名の「推薦入学辞退願（様式任意）」を下記の期限までに本学学長あてに提出し、許可を得てください。

選 抜 方 法	期 限
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	令和7年1月24日（金）12：00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	令和7年2月12日（水）12：00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	令和7年2月12日（水）12：00

5 一般選抜との併願について

学校推薦型選抜の志願者は、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学・学部的一般選抜に出願することができます。ただし、学校推薦型選抜に合格した場合は、上記4（5）で推薦入学の辞退を許可された場合を除き、一般選抜の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。

6 個人情報の取扱いについて

出願受付を通じて取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」，「国立大学法人大阪教育大学個人情報等管理規程」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき、適切に管理し、以下のとおり取扱います。法令に基づく場合を除き、個人情報の目的外利用及び第三者に提供することはありません。

1. 入学者の選抜、合格発表、入学手続業務等に利用します。
2. 入学者の個人情報については、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請等）、授業料徴収等に関する業務に利用します。
3. 氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学に送達します。
4. 取得した個人情報は、個人が特定できない形で処理したうえで、今後の入学者選抜等における調査、研究及びこれらに付随する業務を行うための分析資料や本学の経営戦略を立案する基礎資料として利用します。

なお、以上の業務の一部又はすべてを外部に委託し、必要な個人情報を提供する場合は、委託先との間で適切な取扱いに関する契約を締結します。

7 入学検定料等の返還請求について

次のア）、イ）の場合を除き、出願後、一旦受理した入学検定料等は、返還できません。

- ア) 入学検定料等を払い込んだが、出願しなかった場合、又は出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合
- イ) 入学検定料等を誤って二重に払い込んだ場合

上記ア）、イ）に該当する場合は、大阪教育大学入試課まで問い合わせてください。

TEL 072-978-3324 受付時間：平日9：00～17：00
FAX 072-978-3327

返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

また、返還請求には領収証、明細票等の支払いを確認できる書類が必要となりますので必ず保管しておいてください。クレジットカードで支払った場合は、入金確認メールを打ち出したものでもかまいません。

なお、入学検定料等の返還時期は、返還請求の時期にかかわらず、令和7年度学校推薦型選抜の入試終了後、12月下旬となります。

学生生活案内

(1) 入学料免除・授業料免除等

ア 入学料免除・授業料免除・日本学生支援機構給付奨学金（高等教育修学支援新制度）

対象者	「高等教育修学支援新制度」において「大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）」に定められた大学等の支援を受ける者又は支援を希望する者 （本制度は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対して、入学料・授業料の減免及び給付奨学金の支給を行う制度です。給付奨学金については（2）奨学金を参照してください。） 詳細については、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
-----	--

イ 入学料徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については、本人の申請に基づき選考の上、徴収猶予が許可された場合、当該年度の7月末日まで猶予されます。

対象者	(ア) 経済的理由によって納付すべき期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 (イ) 本学入学前1年以内（令和6年4月から令和7年3月まで）において入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納付すべき期限までに入学料の納付が著しく困難であると認められる者
-----	---

ウ 授業料徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については、前期・後期ごとに、本人の申請に基づき選考の上、徴収猶予が許可された場合、前期は7月末日、後期は1月末日まで猶予されます。

対象者	(ア) 経済的理由によって納付すべき期限までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 (イ) 本学入学前1年以内（令和6年4月から令和7年3月まで）において本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納付すべき期限までに授業料の納付が著しく困難であると認められる者
-----	---

(注) いずれも申請についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
大学ウェブページでも案内しています。

入学料免除 <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/expense/nyumen.html>

授業料免除 <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/expense/jyumen.html>

<問い合わせ先> 学生支援課奨学厚生係 (TEL 072-978-3305)

(2) 奨学金

学業成績が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な者には、《日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）》又は《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金とがあります。

(参考) 令和6年度入学者 日本学生支援機構奨学金の給付・貸与月額例

奨学金の種類	自宅通学	自宅外通学
給付奨学金	29,200円(第Ⅰ区分)・19,500円(第Ⅱ区分)・9,800円(第Ⅲ区分)・7,300円(第Ⅳ区分) [多子世帯に限る]	66,700円(第Ⅰ区分)・44,500円(第Ⅱ区分)・22,300円(第Ⅲ区分)・16,700円(第Ⅳ区分) [多子世帯に限る]
第一種奨学金 (無利子)	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金 (有利子)	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円 のいずれかより選択	

(注) 申請についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/expense/syougaku/>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課奨学厚生係 (TEL 072-978-3305)

(3) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では、大学の安全管理責任の観点から、学生の教育研究活動中の災害に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」・「通学中等傷害危険担保特約(通学特約)」及び「学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)」の「2,000万円・Aコース」に加入登録をしており、本学学生は全員加入とします。

【保険料】 (円)

区分	保険期間	学研災	通学特約	付帯賠償	合計金額
学部	4年間	2,300	1,000	1,360	4,660

(注) 保険加入手続は本学が行います。なお、保険料は入学時諸費用(校友会会費)により納入しますので、個別にお支払いいただく必要はありません。保険についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/life/hoken.html>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課学生支援係 (TEL 072-978-3312)

(4) 学生宿舎

本学では、学生宿舎として、柏原キャンパス内に男子・女子学生宿舎を設置しています。詳細については、本学ウェブページをご参照ください。

ホーム>学生生活・就職>宿舎・生活関連施設>学生宿舎・下宿

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/dormitory/syukusya.html>



【学生宿舎の概要】

所在地	大阪教育大学柏原キャンパス内	
棟数	男子棟・女子棟(鉄筋コンクリート5階造)各1棟 ※全面禁煙	
食事	各階補食室で自炊可能。食事提供なし。	
部屋	1人部屋 〔共同利用:補食室(台所)・トイレ・浴室・シャワー室(女子のみ)・洗面所洗濯室〕	
区分	男子学生宿舎	女子学生宿舎
居住面積	居室 約8㎡(約4.5畳)	居室 約8㎡(約4.5畳)
部屋数	60室	80室
収容定員	60人	80人

※募集人数は令和6年12月中旬頃に本学ウェブページに公開します。

【応募】

関係書類取得方法	令和6年12月中旬頃に本学ウェブページにて掲載します。
応募書類提出期限	令和7年1月~2月頃※詳細はウェブページをご確認ください。

(注) 入居申請受付期間は、学校推薦型選抜、前期日程、後期日程等によってそれぞれ異なりますので、本学ウェブページを参照し、提出方法等を確認のうえ、所定の期日までに申請してください。

なお、申請に必要な証明書類等に不備がある場合は、受付できませんので、提出書類等詳細も必ず確認のうえ予め準備してください。

<問い合わせ先> 学生支援課学生支援係 (TEL 072-978-3312)

(5) ノートパソコンの必携について

ア はじめに

本学では、授業とレポート作成や論文作成など、大学生活の中で数多くの機会にパソコンを活用します。みなさんが大学を卒業される時には、獲得した知識とスキルを教育現場や社会において十分発揮できるよう、自分専用のノートパソコンを用いてさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし、ノートパソコンを大学へ持参していただいています。

イ 持参していただくノートパソコン

本学が指定する必要条件（最低限必要な機能・性能等）を満たす自分専用のノートパソコンを入学までにご用意ください。

必要条件を満たせば、既にお持ちのノートパソコンを使用していただいても構いません。本学では、特定の機種を指定して購入をお願いすることはしていません。

詳しくは合格者に送付する入学手続関係書類に同封する「ノートパソコンの必携についてのご案内」にてお知らせします。

なお、令和7年度の新入生向けノートパソコン必要条件は、前年度の必要条件とほぼ同様となる予定です。

ウ 貸与

やむを得ない事情で、ノートパソコンの貸与を必要とされる方には、「ノートパソコン貸与基準」により審査を通過した者に、原則入学後6ヶ月間に限り大学から貸与します。

参考

- ・ノートパソコンの必要条件（前年度の内容です）
<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byodr6>
- ・ノートパソコン貸与基準
https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/content_files/byod/rental_pc_criteria.pdf



<ノートパソコン必携に関する問い合わせ窓口>

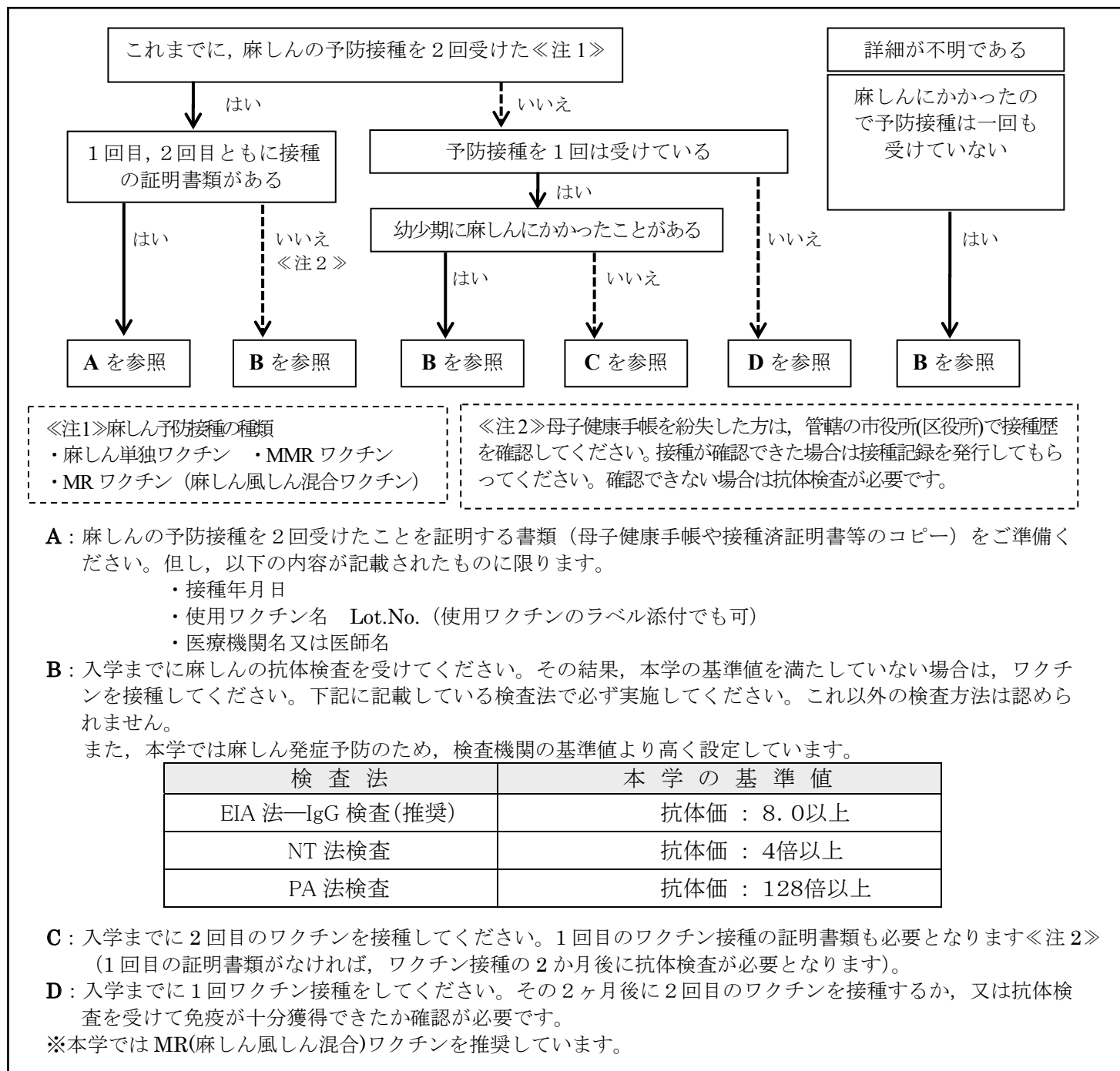
みらい ICT 先端センター メールアドレス staff@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》

本学では、学校における麻しん対策ガイドラインに基づき、本学入学試験合格者は、入学手続き書類として【麻しん（はしか）に関する確認書】を提出していただいています。合格者の年齢に関係なく、全員が対象となります。

本学所定の【麻しん（はしか）に関する確認書】は、入学手続関係書類等と一緒に送付されますが、お手元に届いてから入学手続きまでの期間が短い場合がある上、国内の麻しんワクチン不足が懸念されているため、下記のフローチャートを参考に、早めにご準備ください。

※特別な事情を除き、原則2回の予防接種を強く推奨しています。



【麻しん（はしか）に関する確認書】については、入学手続に関する事前のお知らせです。
入学試験の出願や受験には関係ありません。

<問い合わせ先> 大阪教育大学保健センター TEL 072-978-3811(受付時間 平日9:00~16:00)

令和7年度大学入学共通テスト受験教科・科目の確認表 (共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠を含む))

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠を含む)の出願にあたっては、本学が各募集区分で指定した令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを、以下の方法により志願者本人の責任で確認してください。1科目でも受験していない者は、選抜の対象にはなりません。(課す推薦(特別枠)については、最終合格者として決定しません。)

本学が定める大学入学共通テスト利用科目の選択パターン毎に確認表を記載していますので、自身が志望する専攻・コースのパターンを選び、受験科目欄において受験するすべての科目に○を記入してください。(教科・科目の名称は略しています。略語の説明は43頁を参照してください。)

記入した内容と「科目選択」と「本学で受験する場合の注意事項」を比較し、受験科目欄にそれに一致する数以上の○が記入されており、かつ、選択できない組合せではない(利用できる組合せである)場合は、本学が各募集区分で指定した教科・科目を受験していることとなります。

指定した教科・科目数を超えて受験する場合(1科目のところに2つの○が入るなど)、選択可能な組合せ及びどの科目の成績が採用されるかは43~47及び61頁にも記載しています。

また、地理歴史及び公民においては、2科目受験の場合、2科目とも一方の教科を受験すれば6教科、1科目ずつ両教科から受験すれば7教科と数えます。

自身が選択する組合せで本学を受験可能かどうか不安な場合は、大学入学共通テストの出願前に入試課に確認してください。

A (文理)

学校教育教員養成課程 幼小教育専攻(幼児教育コース, 小学校教育コース)
次世代教育専攻(教育探究コース)
教科教育専攻(英語教育コース, 家政教育コース)
特別支援教育専攻
教育協働学科 教育イノベーション専攻(環境安全科学コース)

↳ 6教科8科目又は7教科8科目(うち地理歴史及び公民が1科目 又は 2科目)

教科グループ	出題科目	「科目選択」 地歴公民から2 理科から1 の場合	「科目選択」 地歴公民から1 理科から2 の場合	受験 科目	本学で受験する場合の注意事項 (頁数が記載されている場合は、該当頁を必ず確認すること)
国	『国』	必須	必須		
数	① 『数Ⅰ, 数A』 『数Ⅰ』	から1	から1		
	② 『数Ⅱ, 数B, 数C』	必須	必須		
地歴 公民	『地総, 地探』	から2	から1		地歴公民から2科目の場合は理科から1科目 地歴公民から1科目の場合は理科から2科目となるが、 どちらも2科目受験している場合は、以下のとおりとなるので注意すること。 ・解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を 第2解答科目とし、以下の順番で組み合わせを決定する。 ①まず、地歴公民と理科の第1解答科目の成績を採用 ②次に地歴公民と理科の第2解答科目の成績を比較し、原則高い成績を採用 ※ただし、組合せにより2科目目として選択できない場合があるので注意すること。 (特に『地総/歴総/公』及び『物基/化基/生基/地基』に注意すること。) 【43~44頁参照】
	『歴総, 日探』				
	『歴総, 世探』				
	『公, 倫』				
	『公, 政経』				
理	『地総/歴総/公』 ※3つから2つを選択解答	から1	から2		
	『物基/化基/生基/地基』 ※4つから2つを選択解答				
	『物』				
	『化』				
	『生』				
外	『英(リ)』	から1	から1		英語を選択する場合は、必ずリスニングテストも受験すること。 (ただし、リスニングテスト免除者は除く。) 【44頁参照】
	『独』				
	『仏』				
	『中』				
	『韓』				
情	『情Ⅰ』	必須	必須		

B (文系)

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 (国語教育コース, 社会科教育コース)

↳ 6教科8科目又は7教科8科目 (うち地理歴史及び公民が2科目)

教科グループ	出題科目	「科目選択」 地歴公民から2 理科から1	受験科目	本学で受験する場合の注意事項 (頁数が記載されている場合は、該当頁を必ず確認すること)
国	『国』	必須		
数	① 『数Ⅰ, 数A』 『数Ⅰ』	から1		
	② 『数Ⅱ, 数B, 数C』	必須		
地歴公民	『地総, 地探』	から2		<ul style="list-style-type: none"> 地歴公民において、2科目受験している場合であっても、本学が認めていない組合せとなった場合は、受験ができなくなるため注意すること。 ※特に『地総/歴総/公』に注意すること。 なお、募集要項に選択できる組合せを一覧表にしているのを確認すること。【43頁参照】
	『歴総, 日探』			
	『歴総, 世探』			
	『公, 倫』			
	『公, 政経』			
	『地総/歴総/公』 ※3つから2つを選択解答			
理	『物基/化基/生基/地基』 ※4つから2つを選択解答	から1		<ul style="list-style-type: none"> 理科を2科目受験している場合は、解答順に、前半60分で解答した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。【44頁参照】
	『物』			
	『化』			
	『生』			
	『地』			
外	『英(リ)』	から1		<ul style="list-style-type: none"> 英語を選択する場合は、必ずリスニングテストも受験すること。(ただし、リスニングテスト免除者は除く。) 【44頁参照】
	『独』			
	『仏』			
	『中』			
	『韓』			
情	『情Ⅰ』	必須		

C (理系)

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 (理科教育コース)

↳ 6教科8科目 (うち地理歴史及び公民が1科目)

教科グループ	出題科目	「科目選択」 地歴公民から1 理科から2	受験科目	本学で受験する場合の注意事項 (頁数が記載されている場合は、該当頁を必ず確認すること)
国	『国』	必須		
数	① 『数Ⅰ, 数A』 『数Ⅰ』	から1		
	② 『数Ⅱ, 数B, 数C』	必須		
地歴公民	『地総, 地探』	から1		<ul style="list-style-type: none"> 地歴公民を2科目受験している場合は、解答順に、前半60分で解答した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。【44頁参照】 理科において、2科目受験している場合であっても、本学が認めていない組合せとなった場合は、受験ができなくなるため注意すること。 ※『物基/化基/生基/地基』と『物』『化』『生』『地』で同一名称を含む科目は選択できない。 例えば物理基礎を選んだ者が物理を受験した場合、同一とみなし、1科目となるため、2科目必要な専攻・コースの場合は受験できなくなる。【43頁参照】
	『歴総, 日探』			
	『歴総, 世探』			
	『公, 倫』			
	『公, 政経』			
	『地総/歴総/公』 ※3つから2つを選択解答			
理	『物基/化基/生基/地基』 ※4つから2つを選択解答	から2		<ul style="list-style-type: none"> 理科において、2科目受験している場合であっても、本学が認めていない組合せとなった場合は、受験ができなくなるため注意すること。 ※『物基/化基/生基/地基』と『物』『化』『生』『地』で同一名称を含む科目は選択できない。 例えば物理基礎を選んだ者が物理を受験した場合、同一とみなし、1科目となるため、2科目必要な専攻・コースの場合は受験できなくなる。【43頁参照】
	『物』			
	『化』			
	『生』			
	『地』			
外	『英(リ)』	から1		<ul style="list-style-type: none"> 英語を選択する場合は、必ずリスニングテストも受験すること。(ただし、リスニングテスト免除者は除く。) 【44頁参照】
	『独』			
	『仏』			
	『中』			
	『韓』			
情	『情Ⅰ』	必須		

D (文理)

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 (保健体育コース, 音楽教育コース, 美術・書道教育コース)

↳ 6教科6科目 (うち地理歴史及び公民が1科目)

教科グループ	出題科目	「科目選択」	受験科目	本学で受験する場合の注意事項 (頁数が記載されている場合は、該当頁を必ず確認すること)
国	『国』	必須		
数	① 『数Ⅰ, 数A』 『数Ⅰ』	から1		・ 最高得点となるいずれか1科目の成績を採用
	② 『数Ⅱ, 数B, 数C』			
地歴公民	『地総, 地探』	から1		・ 地歴公民を2科目受験している場合は、解答順に、前半60分で解答した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。 【44頁参照】
	『歴総, 日探』			
	『歴総, 世探』			
	『公, 倫』			
	『公, 政経』			
	『地総/歴総/公』 ※3つから2つを選択解答			
理	『物基/化基/生基/地基』 ※4つから2つを選択解答	から1		・ 理科を2科目受験している場合は、解答順に、前半60分で解答した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。 【44頁参照】
	『物』			
	『化』			
	『生』			
	『地』			
外	『英(リ)』	から1		・ 英語を選択する場合は、必ずリスニングテストも受験すること。 (ただし、リスニングテスト免除者は除く。) 【44頁参照】
	『独』			
	『仏』			
	『中』			
	『韓』			
情	『情Ⅰ』	必須		

E (文理)

教育協働学科 グローバル教育専攻 (日本語教育コース, 国際協働英語コース)

↳ 4教科4科目

教科グループ	出題科目	「科目選択」	受験科目	本学で受験する場合の注意事項 (頁数が記載されている場合は、該当頁を必ず確認すること)
国	『国』	必須		
数	① 『数Ⅰ, 数A』 『数Ⅰ』	から1		・ 原則最高得点となるいずれか1科目の成績を採用 ※ただし、地歴公民及び理科をどちらも2科目受験している場合は、以下のとおりとなるので注意すること。 ・ 地歴公民を2科目受験している場合は、解答順に、前半60分で解答した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。 【44頁参照】
	② 『数Ⅱ, 数B, 数C』			
地歴公民	『地総, 地探』	から1		・ 理科を2科目受験している場合は、解答順に、前半60分で解答した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。 【44頁参照】
	『歴総, 日探』			
	『歴総, 世探』			
	『公, 倫』			
	『公, 政経』			
	『地総/歴総/公』 ※3つから2つを選択解答			
理	『物基/化基/生基/地基』 ※4つから2つを選択解答	から1		・ 英語を選択する場合は、必ずリスニングテストも受験すること。 (ただし、リスニングテスト免除者は除く。) 【44頁参照】
	『物』			
	『化』			
	『生』			
	『地』			
外	『英(リ)』	から1		・ 英語を選択する場合は、必ずリスニングテストも受験すること。 (ただし、リスニングテスト免除者は除く。) 【44頁参照】
	『独』			
	『仏』			
	『中』			
	『韓』			
情	『情Ⅰ』	必須		

インターネット出願方法

インターネット出願を行うには、STEP1～6の手順で申し込みを行ってください。入学検定料等のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。よくある質問を85～87頁に掲載していますのであわせてご確認ください。

STEP1 出願の流れ

出願の流れは、以下のとおりです。



STEP2 出願登録前の準備

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトを使用します。出願申込を行っていただくにあたり、以下の環境が必要となります。

1. 推奨環境



<パソコン>

(Windows) Microsoft Edge 124.0 Google Chrome 124.0
(Mac) macOS 14.4 Safari 17.4

<スマートフォン・タブレット> iOS 17.4 Safari 17.4 Android 14.0 Google Chrome 124.0

ポップアップブロックを無効に設定してください。

推奨 WEB ブラウザ以外のブラウザをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。インターネット出願では cookie (クッキー) 及び JavaScript を使用しています。ご使用のブラウザの設定画面にて、cookie 及び JavaScript を「有効にする」に設定してください。Android スマートフォン・タブレットをご使用の場合は、ご使用機種種の標準ブラウザでは提出用書類 (PDF) がダウンロードできない場合があります。Android スマートフォン・タブレットのブラウザは Chrome をご使用ください。

2. PDF



募集要項、入学検定料等支払い受付後の「提出用書類」は PDF 又は GoogleDocs で表示されます。

※PDF で文書をご覧いただく場合は、アドビシステムズ社の Adobe Reader が必要です(無償)。

ご利用のパソコンに Adobe Reader がインストールされていない場合は、最新版をインストールしてください。

※スマートフォン、タブレットでご覧いただいている場合は、GoogleDocs での表示を推奨しています。(閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは必要ありません)

3. プリンタ



入学検定料等支払い受付後の「提出用書類」を印刷するためにプリンタが必要です。ご使用のパソコンにプリンタが接続されていることを確認してください。必ず A4 用紙に印刷してください。

※プリンタをご使用できない環境の場合、「提出用書類」は PDF 形式で表示されますので、PDF ファイルを保存し、保存したファイルを別途印刷してください。

4. メールアドレス



志願者情報登録時に登録していただいたメールアドレスに、受付のお知らせメールをお送りします。※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。

5.お支払いについて

入学検定料等のお支払いは、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy が利用可能です。

①コンビニエンスストア、Pay-easy のお支払い手順

コンビニエンスストア、Pay-easy でお支払いの方は、インターネット出願サイト内で支払い方法を選択（STEP3-13）、支払い情報を確認（STEP3-14）し、お支払い期限内に選択した各機関でお支払いください。（STEP5）

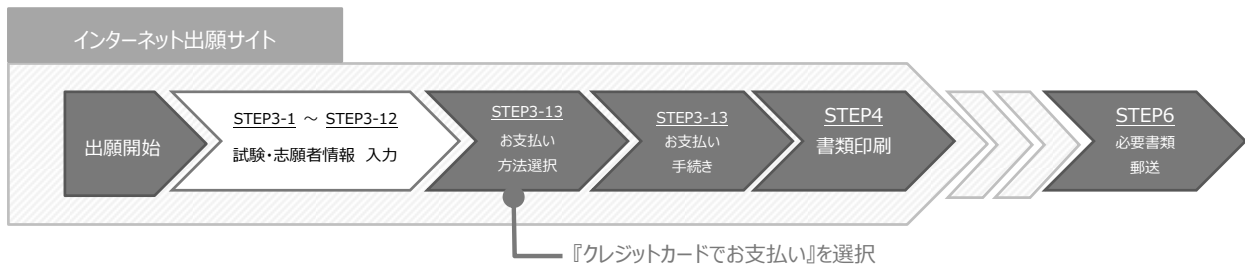


【利用可能な支払い方法】

- ・コンビニエンスストア
ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート
- ・Pay-easy（ペイジー）を利用可能な ATM

②クレジットカードのお支払い手順

クレジットカードでお支払いの方は、インターネット出願サイト内で支払い方法を選択し（STEP3-13）、クレジットカード情報入力画面でクレジットカードによるお支払いを行ってください。



【利用可能なクレジットカード】

VISA, MasterCard

6.チェックリスト

作業開始前に以下のものが準備できているか確認してください。インターネット出願は登録中であっても、30分以上操作を行わなかった場合には、データが消去されてしまいますのでご注意ください。

✓	準備するもの	備考
	パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願してください。
	印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。書類印刷は、白黒印刷でもかまいません。ただし、写真を自宅で印刷される場合は、光沢紙等、写真用の用紙を使用し、必ずカラー印刷してください。
	メールアドレス	日常的に確認しやすいもの。出願登録時に必要となります。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。 ※インターネット出願の志願者情報入力画面（78頁参照）で、メールの受信確認が可能ですので、必ず確認してください。
	写真	2枚（同一）が必要です。カラー、背景無地、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影したもの。 自宅のプリンタ等で写真を印刷する場合は、光沢紙等、写真用の用紙を使用し、必ずカラー印刷してください。なお、粗く印刷され、確認しづらい写真となる場合は不備となる可能性があるため、注意してください。
	出願に必要な書類	志望する専攻、コース等により必要書類が異なります。募集要項17～19頁（課さない推薦）、35～39頁（課す推薦）、58～59頁（課す推薦（特別枠））を参照して、必ず提出期間内に間に合うように郵送してください。 ※提出期間後に到着した場合は、11月6日（水）までの発信局消印がある書留速達郵便を除き、受理しないので、郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに郵送してください。
	封筒	必要書類送付のために市販の角2封筒（24cm×33.2cm）をご用意いただき、表面に送付ラベル（カラー推奨）を貼り付けてください。

STEP 3 インターネット出願登録

1. インターネット出願登録ページへアクセスする。
<https://sak-sak.net/app/oku>
2. 出願の開始



出願開始前の確認事項をよく読み、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）及び個人情報の取り扱いについて「同意チェック欄」にチェックをした上で、利用案内ページの「出願開始」ボタンをクリックします。

【登録後出願状況の確認を行う場合】

ユーザーIDとパスワードを入力の上、「出願状況確認」ボタンをクリックしてください。「出願内容選択」画面が表示されるので、確認したい出願受付番号をクリックしてください。

【2回目以降の出願の場合】

ユーザーIDとパスワードを入力して、「出願開始（ユーザー登録済の方）」ボタンをクリックしてください。

3. 「志願票の選択」で日程の選択

出願する試験を志願票種類から選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

4. 「試験選択」で受験する課程・学科を選択

出願する課程・学科等を選択してください。

※出願可能な日程には○ボタンが表示されています。○ボタンにカーソルを合わせ、選択してください。

5. 「志願先選択」で受験する専攻・コース等を選択



出願する専攻・コース等を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

※出願する専攻・コース等によっては「志願先付属情報」の入力を求められますので、必要に応じて入力してください。

※実技試験を選択する者で、曲名等を登録して申請する必要がある者は、「志願先付属情報」で入力してください。

6. 「科目選択」又は「科目確認」（専攻・コースによって異なる）



画面の指示に従って「科目選択」で実技科目の選択、又は「科目確認」で受験する科目の確認を行ってください。

「次へ」ボタンをクリックしてください。

7. 「試験場確認」で試験場を確認



試験場を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

8. 「試験選択（出願試験確認）」で確認



「試験選択」の画面が表示され、出願した課程・学科等に「出願済」と表示され、画面下部の選択中試験内容欄に選択内容が表示されます。間違いがなければ「次へ」ボタンをクリックしてください。

※出願内容を訂正する場合は、選択中試験内容欄の処理区分の「訂正」ボタンをクリックしてください。「5. 志願先選択」から入力し直すことができます。

※出願内容を削除する場合は、選択中試験内容欄の処理区分の「削除」ボタンをクリックしてください。

9. 「志願者情報入力」で個人情報を入力

志願者情報を入力し、「確認画面へ」ボタンをクリックしてください。その際、メールの受信確認は必ず行ってください。

※「確認画面へ」ボタンをクリックした際にエラーチェックが行われます。エラーがある場合は、画面上部と該当項目にエラーメッセージが表示されますので、エラー箇所を訂正し再度「確認画面へ」ボタンをクリックしてください。

※エラーが存在しない場合は、入力確認画面が表示されます。

※特に「住所（漢字）」と「受験票送付先住所（漢字）」の入力内容に間違いが無いが確認してください。

10. 「志願者情報入力確認」で確認

志願者情報入力確認	
氏名(漢字)	大島 太郎
氏名(カタカナ)	オオシマ タロウ
生年月日(西暦)	2000年03月10日
性別	男性
センター試験受験番号	111111-1111A-1
受験番号	582-0001
住所(漢字)	大阪府大阪市東区4-6-98-1 駅前マンション南棟303号室
TEL	072-978-3324
本人印鑑	
受験票送付先郵便番号	582-0001
受験票送付先住所(漢字)	大阪府大阪市東区4-6-98-1 駅前マンション南棟303号室
メールアドレス	23456@p@gmail.ac.jp
出願校	270010 大阪府 豊田 大阪府立大学附属高等学校 (豊田学校)
学年	1: 豊田校
卒業・進学先(西暦)	2019年3月卒業見込み
上記「住所」で「〒」または「番」を省略した場合は、入力内容が正しくありません。	
予約コード	11112222
ユーザID	*****
パスワード	*****

画面の指示に従って、「志願者情報入力確認」で訂正がないか、確認してください。

出願登録完了後の登録内容の変更は出来ませんので、登録した内容を十分に確認してください。

訂正がなければ「次へ」ボタンをクリックしてください。訂正する場合は「戻る」ボタンをクリックしてください。

1 1. 最終確認

大阪教育大学入学試験 出願

お支払い内容

入学料	17,344円
システム利用料	459円
お支払い合計	17,803円

志願者情報

氏名(漢字)	大野太郎
氏名(カタカナ)	ダイキョウタロウ
生年月日(西暦)	2000年3月1日
性別	男性
〒番号・住所	〒111-1111 東京都
郵便番号	582-0001
住所(漢字)	大阪府大阪市東区4-6-8-1 駅前マンションビル303号室
T E L	06-1234-5678
本人番号	090-1122-3344
受験票発行履歴番号	162-0001
受験票発行住所(漢字)	大阪府大阪市東区4-6-8-1 駅前マンションビル303号室
メールアドレス	123456@gmail.com
出身校	270010 大阪府 国立 大阪教育大学附属天王寺(高等学校)
学科	1 経済科
卒業・退学年月(西暦)	2022年3月卒業
上記「学科」で「F」又は「H」を記入してください	

試験情報

試験日	試験	志願先	科目	試験種	金額
2/25	前期日程	学校推薦 特別推薦	小論文	推薦マシナンP/C	17,344円

戻る

出願

お支払い内容、志願者情報、試験情報を確認し、「出願」ボタンをクリックしてください。

訂正する場合は、訂正箇所の戻るボタンをクリックし、訂正を行ってください。

- ◆「志願者情報入力へ戻る」ボタン・・・志願者情報の訂正
- ◆「試験情報選択へ戻る」ボタン・・・試験情報選択の訂正

1 2. 出願情報登録完了

大阪教育大学入学試験 出願

出願情報登録完了 → 出願受付番号の確認・お支払いの手続き → 提出用書類印刷

出願受付完了後、「お支払い方法選択」ボタンをクリックし、お支払いに必要な番号を確認してください。手続き完了後は、お支払い履歴までに入学金と納付料のお支払いを行ってください。

お支払いの手続き

「お支払い方法選択」ボタンをクリックし、お支払いに必要な番号を確認してください。手続き完了後は、お支払い履歴までに入学金と納付料のお支払いを行ってください。

試験受付番号

2025-004768

お支払い方法選択

「お支払い方法選択」ボタンをクリックしてください。

1.3. 「支払方法選択」で支払方法を選択

支払方法を選択し、「支払」ボタンをクリックしてください。

【コンビニエンスストア、Pay-easyでお支払いの場合】
次画面に遷移します。

(※当処理では検定料のお支払いは完了していません)

【クレジットカードでお支払いの場合】

クレジットカードによるお支払いを行ってください。

(※当処理で検定料のお支払いが完了します)

支払い完了後、次画面に遷移します。

1.4. 出願受付完了

【コンビニエンスストア、Pay-easyの場合】

画面に「出願情報登録完了」と表示されます。

<出願受付番号>

出願受付番号は、出願受付に関する問い合わせ等が必要となります(※「受験申込み受付のお知らせメール」にも記載されていますが、念のためメモをお取りください。)

<提出用書類の印刷> →STEP4 へ

「提出用書類印刷」ボタンをクリックし、提出用書類を印刷してください。

<支払手続き> →STEP5 へ

支払い手続きを行ってください。支払期日以内に選択した支払い方法(コンビニエンスストア、Pay-easy)で入学検定料等の支払いを行ってください。

【クレジットカードの場合】

画面に「出願受付完了」と表示されます。

<出願受付番号>

出願受付番号は、出願受付に関する問い合わせ等が必要となります。(※「受験申込み受付のお知らせメール」にも記載されていますが、念のためメモをお取りください。)

<提出用書類の印刷> →STEP4 へ

「提出用書類印刷」ボタンをクリックし、提出用書類を印刷してください。

STEP 4 提出用書類の印刷，作成，確認

STEP3-14の「提出用書類の印刷」画面から、必要書類をダウンロードしてください。提出用の書類は **A4サイズ**の白の用紙に**片面印刷**（カラー推奨・白黒可）してください。縮小や拡大しての印刷，両面印刷したものは提出しないでください。印字内容を確認の上，以下のとおり書類を作成ください。

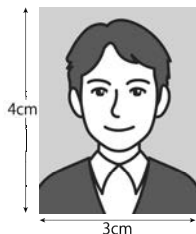
1. 出願確認票

- ◆ 印字内容を確認してください。
- ◆ コンビニエンスストアや Pay-easy で入学検定料等を支払った場合は，領収書（明細票）を自宅で保管しておいてください。

2. 写真票

- ◆ 写真（2枚同一）を貼付してください。
- ◆ 写真裏面に氏名と志望専攻名を記入してください。

【適当な写真例】



カラー，背景無地，正面，上半身，脱帽，縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。

【不適当な写真例】



前髪が長すぎて目元が見えないもの



顔が大きすぎるもの



被写体が小さいもの



被写体が小さいもの



目を閉じているもの

3. 書類確認票

書類確認票

※必ず書類を再確認し、必要書類が揃っていない場合は、必要書類を再提出してください。

項目	書類名	注意事項
1	入学検定料	入学検定料は、入学検定料の納入期限までに納入してください。
2	志願書	志願書は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
3	志願書添付書類	志願書添付書類は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
4	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
5	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
6	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
7	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
8	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
9	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
10	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
11	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
12	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
13	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
14	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
15	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
16	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
17	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
18	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
19	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
20	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
21	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
22	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
23	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
24	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
25	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
26	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
27	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
28	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
29	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。
30	入学検定料納入済印	入学検定料納入済印は、入学検定料の納入期限までに提出してください。

- ◆ 必要書類を再確認し、「チェック欄にレ印」を記入してください。
- ◆ 志願者氏名を記入し、必要書類とあわせて郵送してください。

4. 送付ラベル

送付ラベル

〒582-8582 大阪府 柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学入試課 行

書留速達

前

一般入試 前期日程【教育学部】 出願受付中

学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

送付人

〒582-8582 大阪府 柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学入試課 行

- ◆ 市販の角 2 封筒に貼り付けて郵送してください。

STEP 5 入学検定料等のお支払い（コンビニエンスストア、Pay-easy）

入学検定料等は、出願確認票（本人控）に記載された支払期限までにお支払いください。入学検定料等の金額や注意事項などを16頁・34頁・57頁に記載していますので、あわせてご確認ください。

コンビニエンスストア・Pay-easyでお支払いの場合

「STEP 3-14 出願受付完了」画面で、「お支払い方法選択」ボタンをクリックし、お支払い受付番号の発行など支払いに必要な情報を入手してください。（※支払いのための受付番号等は、出願受付番号と異なりますのでご注意ください）

詳細な支払い手順については、次頁以降を参照するか、インターネット出願サイト（<https://sak-sak.net/app/oku>）の「利用案内」の「3. お支払いについて」をご確認ください。

※クレジットカードでお支払いを選択された場合は、「STEP 3-13」で支払いが完了しています。

STEP 6 必要書類の郵送

出願確認票と同時に出力される「送付ラベル」を必要書類郵送用封筒（市販の角 2 封筒）の表面に貼付け、17～19頁・35～39頁・58～59頁を参照のうえ、提出用書類、調査書等の必要書類を「書留速達」で郵送してください。

LAWSON ローソン・ミニストップ



Loppiへ

1. Loppiのトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
 2. 「お支払受付番号」(6桁)を入力し、「次へ」ボタンを押してください。
 3. インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
 4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認ください。
 5. 「申込券」が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。
- ※お支払い後、「払込受領証」を忘れずにお受け取りください。

あなたも、コンビニ、FamilyMart ファミリーマート



マルチコピー機へ

1. マルチコピー機のトップ画面左上の「代金支払い」ボタンを押してください。
 2. 「次へ」を選択してください。
 3. 「番号を入力する」を選択してください。
 4. 「お支払受付番号」を入力し、OK ボタンを押してください。
 5. インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
 6. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「OK」ボタンを押してください。
 7. 「申込券」が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。
- ※お支払い後、「受領証」を忘れずにお受け取りください。

セブンイレブン



レジへ

1. セブンイレブン代金収納サービス払込票 URL から「代金収納サービス払込票」を印刷するか、「払込票番号」を控えて、お近くのセブンイレブンのレジへ。
 2. 「インターネットショッピング払込票」を店員に手渡すか、「インターネット決済」であることを告げ、続いて「払込票番号」を伝えてください。
 3. 代金をお支払いください。
- ※お支払い後、「インターネットショッピング払込領収書」を忘れずにお受け取りください。

デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア



レジへ

1. 「オンライン決済番号」が表示された画面を印刷するか、「オンライン決済番号」を控えて、お近くのデイリーヤマザキのレジへ。
 2. 店員に、印刷した用紙を手渡すか、「オンライン決済」であることを告げてください。
 3. 代金をお支払いください。
- ※画像はオンライン決済番号をスマートフォンで表示した画面です。
※お支払い後、「領収書」を忘れずにお受け取りください。

Secomart セイコーマート



レジへ

1. レジにて「インターネット支払い」と告げてください。レジの画面に番号入力画面が表示されます。
 2. 「お支払い受付番号」(6桁)を入力してください。
 3. インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
 4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「OK」ボタンを押してください。
 5. 代金をお支払いください。
- ※お支払い後、「受取書」を忘れずにお受け取りください。

※コンビニをご利用の場合は、30万円を超えるお支払いはできません。

※コンビニやATMの端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。

ペイジーでゆうちょ銀行/郵便局 ATMでお支払い



※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。



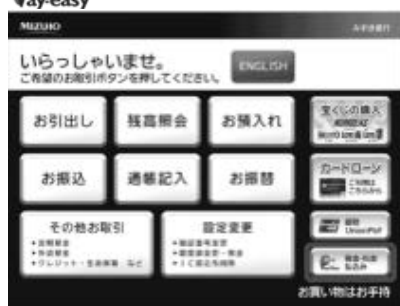
ゆうちょ銀行/郵便局 ATMへ

1. 料金払込(ペイジー)ボタンを押してください。
2. 次に表示される画面で、手入力ボタンを押してください。
3. 収納機関番号画面で「収納機関番号 (58191)」を入力してください。
4. お客様番号 (納付番号) を入力してください。
5. 確認番号を入力してください。
6. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行ってください。

ペイジーで各金融機関の ATMでお支払い



※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。



※例.みずほ銀行の ATM

金融機関の ATMへ ※みずほ銀行の場合

1. 「税金・料金払込」ボタンを押してください。
2. 収納機関番号画面で「収納機関番号 (58191)」を入力してください。
3. お客様番号 (又は納付番号) を入力してください。
4. 確認番号を入力してください。
5. 確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
6. お支払い方法 (現金又はキャッシュカード) を選択してください。
7. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行ってください。

※ATMで現金でのお支払いの場合は、10万円を超えるお支払いはできません。

※コンビニやATMの端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。

インターネット出願に関する Q&A

	質 問	回 答
利用環境について	スマートフォン、タブレット端末から出願できますか。印刷の方法も教えてください。	出願可能です。利用する機種により画面が正常に表示されない場合があります。その場合は、パソコンを利用してください。携帯電話からは利用できません。スマートフォンやタブレット端末から出願した場合は、無線接続機能があるご家庭のプリンタや、コンビニエンスストア等で印刷してください。 【コンビニエンスストアでの印刷方法】 *ご利用可能なコンビニエンスストア ローソン・ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、セイコーマート *ご利用方法について ・ローソン・ミニストップ、ファミリーマートの場合 (https://networkprint.ne.jp/printsplash/index.html) ・セブンイレブンの場合 (https://www.printing.ne.jp/) ・セイコーマートの場合 (https://www.seicomart.co.jp/service/print.html)
	携帯電話から入学検定料等支払い手続きはできますか？	利用できません。パソコン、スマートフォン、タブレットの利用を対象としています。
	自宅にプリンタがありません。	以下の方法等で印刷してください。 ①学校等のプリンタで印刷。 ②コンビニエンスストアのマルチコピー機より印刷。 ※印刷方法は上の質問の【コンビニエンスストアでの印刷方法】を参照してください。
	メールアドレスはスマートフォン用や携帯電話のものを使えますか。	利用可能です。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがあるため、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。登録したメールアドレスには、大学から大切な連絡が届く場合がありますので、 <u>必ず受信設定を行うようにしてください。</u>
	メールアドレスを持っていません。	メールアドレスの登録は必須です。本人のメールアドレスがない場合はご家族のメールアドレスで登録してもかまいません。出願登録完了及び入金完了の確認メールを送信するために使用します。メールアドレスに誤りがある場合は確認メールが送信されませんので、登録画面で必ずメール受信確認を行ってください。
インターネット出願について	ボタンをクリックしても反応しません。又は次の画面で正しい内容が表示されません。	*cookie (クッキー) の設定が有効であるか確認してください。 cookie を使用しているため、必ずブラウザの設定を「cookie を受付ける (有効にする)」にしてください。 【cookie の確認, 設定方法】【Microsoft Edge の場合】 「画面右上の [...] をクリック」⇒「設定」⇒「Cookie とサイトのアクセス許可」⇒「Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する (推奨) をオンにする。」 *JavaScript が有効になっているか確認してください。 JavaScript を使用しているため、必ずブラウザの JavaScript を有効にしてください。 【JavaScript の設定方法】【Microsoft Edge の場合】 「画面右上の [...] をクリック」⇒「設定」⇒「Cookie とサイトのアクセス許可」⇒「サイトのアクセス許可の JavaScript をクリック」⇒「許可 (推奨) をオンにする。」
	「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。	一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。始めから出願登録をやり直してください。
	しばらく操作をしなかったら、タイムアウトになってしまいました。	30分以上操作を行わなかった場合には、登録途中であっても登録内容が消去されてしまいます。セッションタイムアウトの表示がでた場合は、始めから出願登録をやり直してください。

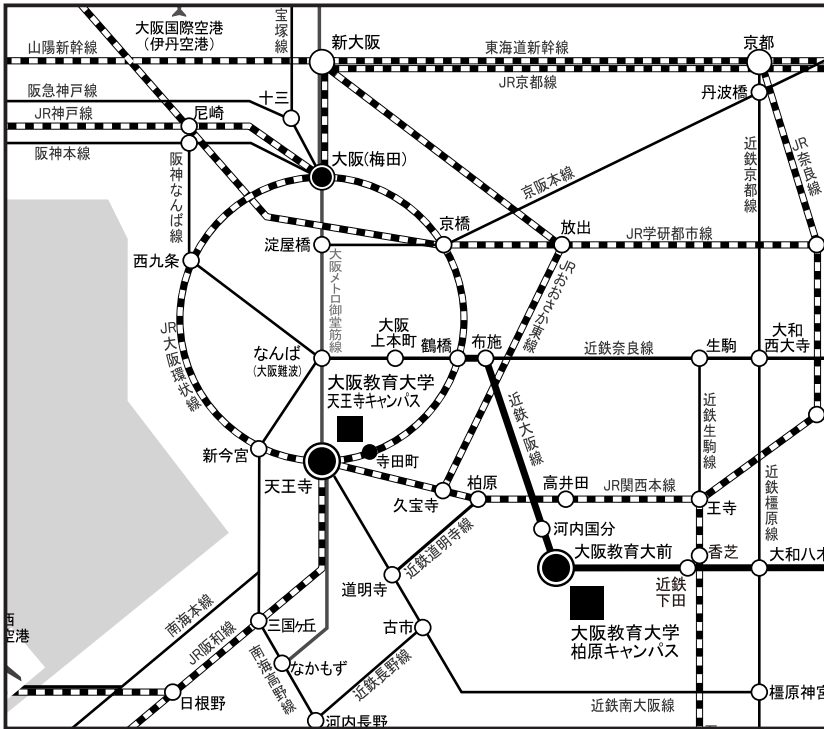
	質 問	回 答
インターネット出願について	途中でブラウザを閉じてしまいました。／途中でインターネット接続が切れてしまいました。	始めから出願登録をやり直してください。
	入学検定料等支払い手続き中に画面がフリーズしました。	【最終確認画面で「出願」をクリックする前の場合】 最初から入学検定料等支払い手続きをやり直してください。 【最終確認画面で「出願」をクリックした後の場合】 状況を確認しますので、入試課までお問い合わせください。
	提出用書類が開きません。（「この文書は有効なPDF文書ではないため、開けません。」と表示される。）	パソコン（スマートフォンの場合はchromeを使用して）から利用案内画面にアクセスしてください。 利用案内画面にてユーザーID/パスワードを入力後、出願状況確認から該当の提出用書類をダウンロードしてください。
	氏名、住所の入力で正しい漢字が出ません。又は入力できません。	旧字等で正しく変換できなかつたり、エラーになる場合は代替の文字(全角)を入力してください。 例) 高木→高木, 山崎→山崎, III (ローマ数字) →3
	受信確認メールが届きません。受付完了メールが届きません。	メールアドレスが正しいか確認してください。また、迷惑メールとして受信している場合がありますので、受信拒否設定を確認してください。
	入学検定料以外の金額が記載されていますが、どのようなものですか。	必要金額は、入学検定料等 17,410 円（入学検定料 17,000 円＋受験票送付用郵便代 410 円）に加え、インターネット出願システム利用料 451 円です。
	出願完了後に申請内容の変更はできますか。	出願完了後に申請内容の変更はできませんので、十分注意してください。 ただし、最終確認画面で出願ボタンをクリックするまでは、前の画面に戻って入力内容を修正することができます。 また、コンビニエンスストア、ATM（ペイジー）での振り込みの場合で、支払前の場合は、その番号では振込をせず、修正後の内容で再度出願登録をした上で、新しい番号で手続きをすることにより、修正後の内容で出願することができます。クレジットカードで決済された場合は、振込手続きが完了しているため、申請内容は変更できません。
	出願受付番号を忘れてしまいました。	出願受付完了メールや印刷した出願確認票の本人控にも記載されていますので、確認してください。また、利用案内画面からユーザーID/パスワードを入力後、出願状況確認画面で確認できます。
	ユーザーIDを忘れてしまいました。	入試課までお問い合わせください。
	パスワードを忘れてしまいました。	トップページ (https://sak-sak.net/app/oku) にアクセスしてください。 ユーザーID/パスワード入力欄の下の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてください。ユーザー情報入力画面でユーザーID・生年月日を入力し、「パスワード再発行」ボタンをクリックしてください。入学検定料等支払い手続き時に登録したメールアドレスに新しいパスワードが送信されます。
提出用書類を印刷し忘れしました。	出願状況確認画面で提出用書類の再印刷が可能です。出願状況確認画面は、利用案内画面より、ユーザーID/パスワードを入力すると開きます。出願状況確認画面で該当する出願受付番号を選択し、「提出用書類印刷」ボタンをクリックしてください。	

	質 問	回 答
インターネット出願について	出願を取り消したいのですが。	入金前の場合は、そのまま入金しなければ、自動的にキャンセルと同じ扱いになります。 入金後の場合は、入金をキャンセルすることはできませんが、出願書類を郵送しなければ出願は完了しません。出願せず、入学検定料等の返還を希望する場合は、入試課にご連絡ください。返還手続きについてご案内いたします。(65頁参照) インターネットによる出願登録、入学検定料等の支払い、出願に必要な書類等の郵送での提出を全て終えた場合は、出願を取り消すことはできず、出願書類の返却、入学検定料等の返還はできません。
	入学検定料の免除について教えてください。	16頁(課さない推薦)、34頁(課す推薦)、57頁(課す推薦(特別枠))にも記載がありますが、東日本大震災(平成23年3月11日発生)、熊本地震(平成28年4月14日発生)及び能登半島地震(令和6年1月1日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。 以下の本学ウェブページを参照した上で、入試課にご連絡ください。 インターネット出願時の注意事項もありますので、必ず事前のご連絡をお願いします。 https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoku_menjyo.html

問い合わせ先：入試課（072-978-3324） ※受付時間：平日9：00～17：00

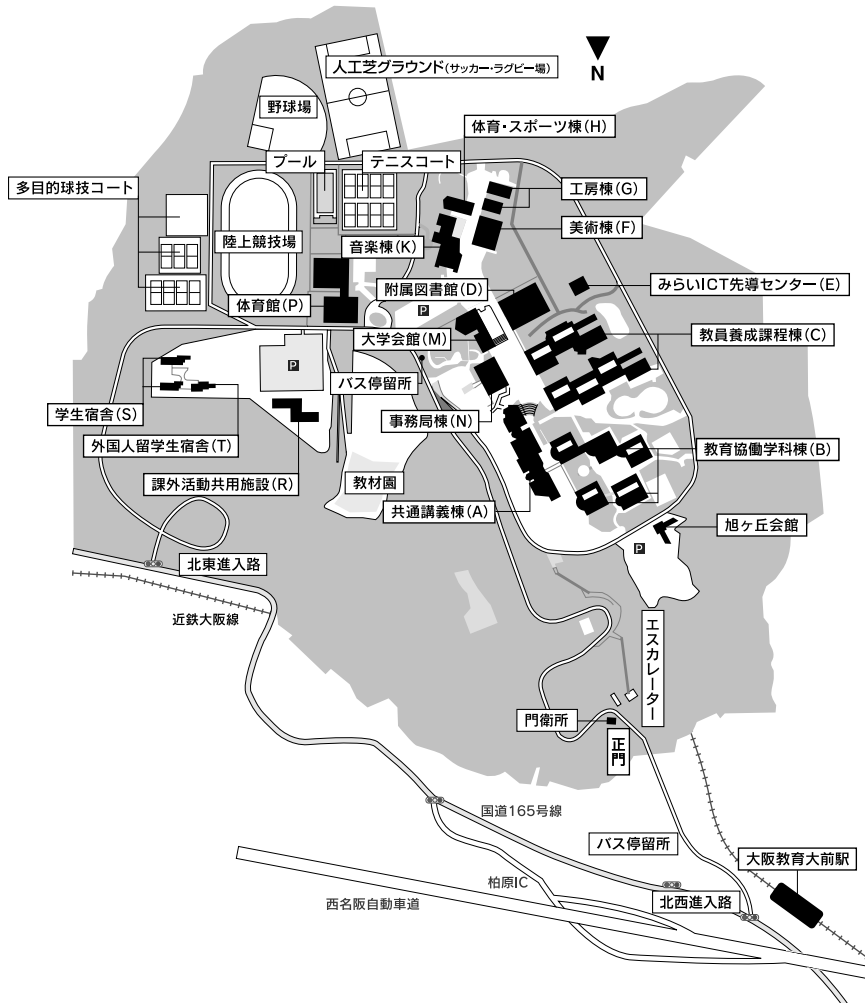
所在地略図

所在地 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1



交通
 近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車
 南東へ約1km
 ※エスカレーター（上り専用3基乗り継ぎ）、途中階段あり

入学試験場：柏原キャンパス



大阪教育大学では、下記の入試情報及び学生生活案内について本学ウェブページでお知らせしています。また、災害等により不測の事態が発生した場合も本学ウェブページで情報提供を行います。

- ・教育学部(一般選抜, 学校推薦型選抜, 私費外国人留学生, 第3年次編入学)
- ・大学院教育学研究科(修士課程)
- ・大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)
- ・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ
(PC・スマホ版)

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



【資料請求について】

大学案内や募集要項等は、本学ウェブページから資料請求やPDF版をダウンロードすることが可能です。またテレメールサイトに右のQRコードからアクセスし、請求することもできます。

(※学校推薦型選抜及び一般選抜(前期・後期)は、紙の募集要項を発行していません)



問い合わせ先

大阪教育大学入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL 072-978-3324(入試課直通)

(受付時間：平日9：00～17：00)

FAX 072-978-3327

メールアドレス nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp